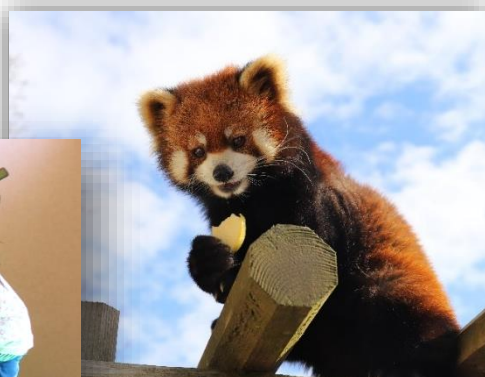
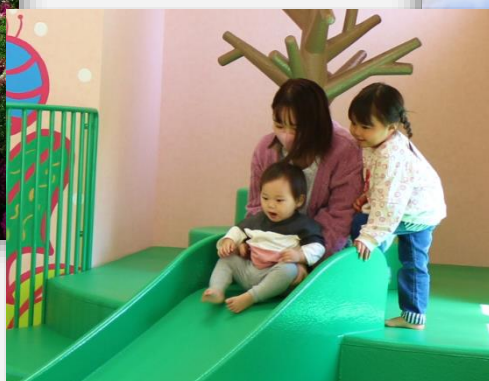


令和4年度 当初予算の概要



めがねのまちさばえ

Sabae Japan Eyeglasses



鯖江市

目 次

1	予算規模	1
2	財政規律の堅持	4
	（1）財政調整基金残高	
	（2）公共施設等整備基金残高	
	（3）一般会計の市債残高	
	（4）市債残高のうち実質的な負担額	
3	歳入の確保	5
	（1）ふるさと納税制度と本市の取組み	
	（2）本市のふるさと納税寄附金額の推移	
	（3）令和4年度における変更点	
4	歳出のポイント	7
	重点的施策	7
	第2期鯖江市まち・ひと・しごと創生総合戦略	18
5	歳入のポイント	27
6	令和4年度 鯖江市一般会計当初予算の状況	28
	歳 入	28
	歳 出（目的別）	32
	歳 出（性質別）	36
7	令和4年度鯖江市当初予算における基金現在高	41
8	令和4年度鯖江市当初予算における市債現在高	42

一般会計の予算規模 272億2,000万円（前年度比5.3%増）

鯖江市は、眼鏡・繊維・漆器などの地場産業をはじめ、市民協働の気風、産業を支える女性の活躍、自然、歴史、伝統や文化など本市固有の魅力ある資源を活かしたまちづくりに取り組んできました。

一方で、少子高齢化が進み、若者の地方離れが深刻化するなど、総人口の減少も見込まれる中、人口減少の克服、地域経済の活性化、さらには強靱で安全・安心かつ環境にやさしい地域社会の形成などが課題となるとともに、社会保障費の増加や公共施設やインフラ等の更新・長寿命化など多額の財政需要も見込まれています。また、長期化する新型コロナウイルス感染症の影響により、今もなお市民生活および地域経済は大きな影響を受けており、市民の皆さまの生命と生活を守るため、常に流動的な事態に対応し、必要な時期に必要な事業が実施できるよう、効率的で安定した財政運営がこれまで以上に求められています。

令和4年度当初予算では、経常経費の削減に努める一方で、コロナ対策事業については、財政調整基金を取崩して実施し、万全を期するとともに、活気ある産業支援やデジタル技術を活用した業務の効率化、教育、子育て環境の充実に努めるなど、めまぐるしく変化する社会情勢の中「今、何をすべきか」をしっかりと考えた予算編成を行いました。

地方自治体に求められるのは、持続可能な安定した自治体経営であり、地域社会の構築です。本市が目指す将来像『笑顔があふれる「めがねのまちさばえ」～人が集い、輝き、挑戦するまち～』の実現には、市内産業の元気再生はもとより、「育てやすい暮らしやすいまちづくり」「みんな輝く市民活躍のまちづくり」の取り組みをさらに加速させていくことが必要です。そのため、ひとりひとりが輝き挑戦できるまちづくりを目標に、令和4年度当初予算を「笑顔と活力あふれるめがねのまちさばえ」予算としました。

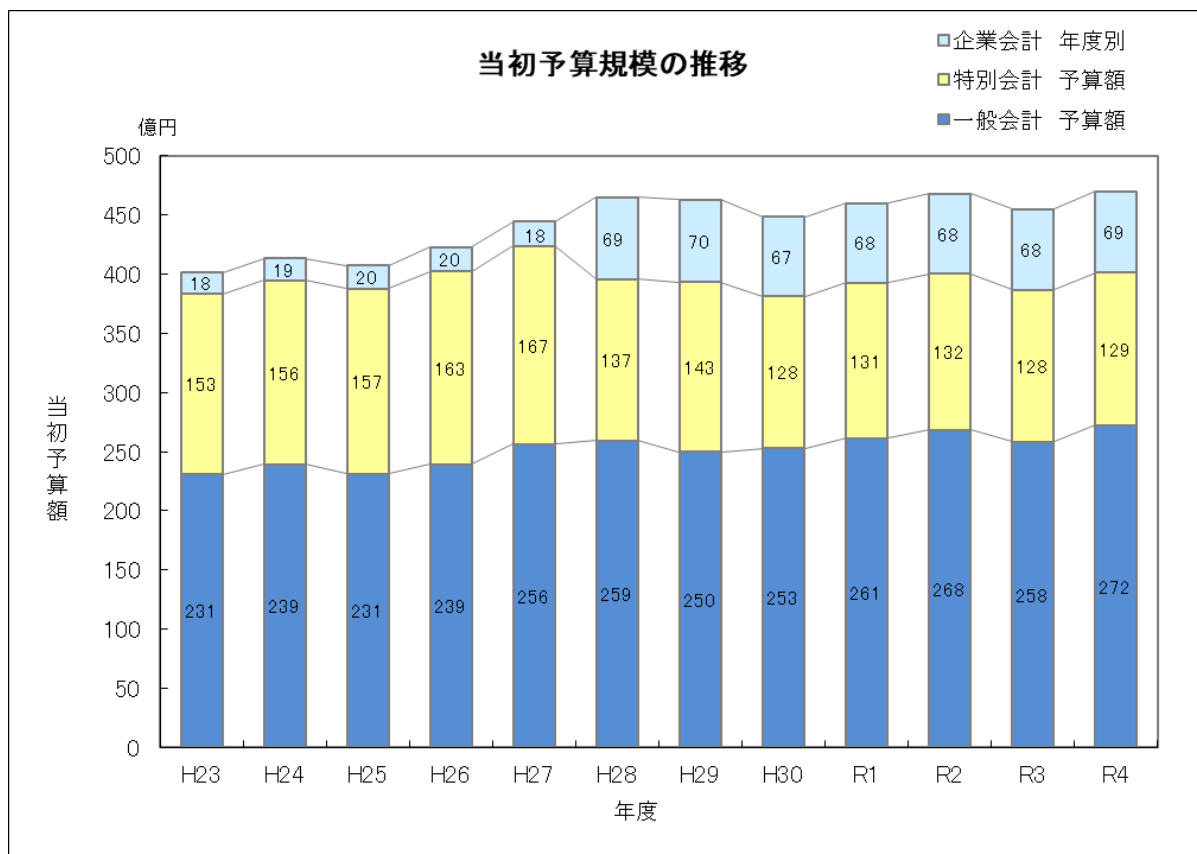
令和4年度当初予算キャッチフレーズ

『笑顔と活力あふれるめがねのまちさばえ』

(単位：千円・%)

会 計 名		令和4年度 ①	令和3年度 ②	増減額 ③(①－②)	増減率 ③/②
一 般 会 計		27,220,000	25,848,000	1,372,000	5.3
特別会計	国民健康保険事業特別会計	6,004,000	6,187,000	△183,000	△3.0
	後期高齢者医療特別会計	983,000	841,000	142,000	16.9
	介護保険事業特別会計	5,934,700	5,795,400	139,300	2.4
	総合開発事業特別会計	7,000	7,000	0	0.0
	小 計	12,928,700	12,830,400	98,300	0.8
企業会計	水道事業会計	2,012,800	1,928,200	84,600	4.4
	公共下水道事業会計	4,232,800	4,230,700	2,100	0.0
	農業集落排水事業会計	620,500	647,500	△27,000	△4.2
	小 計	6,866,100	6,806,400	59,700	0.9
合 計		47,014,800	45,484,800	1,530,000	3.4

(1) 全会計の予算規模の推移（当初予算ベース）



(2) 一般会計の当初予算規模（令和4年度は過去最大）

1番	令和 4年度	272億2,000万円
2番	令和 2年度	268億4,000万円
3番	令和 元年度	261億1,000万円
4番	平成28年度	259億1,000万円
5番	令和 3年度	258億4,800万円

(3) 全会計の当初予算規模（令和4年度は過去最大）

1番	令和 4年度	470億1,480万円
2番	令和 2年度	468億 610万円
3番	平成28年度	464億7,720万円
4番	平成19年度	463億9,030万円
5番	平成29年度	462億8,580万円

(4) 特別会計・企業会計の予算計上額

(単位：千円・%)

① 鯖江市国民健康保険事業特別会計

令和4年度	令和3年度	増減額	増減率
6,004,000	6,187,000	△183,000	△3.0

国民健康保険事業費納付金の減と被保険者数の減により、予算額が減少しました。

② 鯖江市後期高齢者医療特別会計

令和4年度	令和3年度	増減額	増減率
983,000	841,000	142,000	16.9

後期高齢者医療広域連合納付金の増により、予算額が増加しました。

③ 鯖江市介護保険事業特別会計

令和4年度	令和3年度	増減額	増減率
5,934,700	5,795,400	139,300	2.4

保険給付費の増により、予算額が増加しました。

④ 鯖江市総合開発事業特別会計

令和4年度	令和3年度	増減額	増減率
7,000	7,000	0	0.0

事業継続により、予算額を前年度同額としました。

⑤ 鯖江市水道事業会計

令和4年度	令和3年度	増減額	増減率
2,012,800	1,928,200	84,600	4.4

建設改良費の増により、予算額が増加しました。

⑥ 鯖江市公共下水道事業会計

令和4年度	令和3年度	増減額	増減率
4,232,800	4,230,700	2,100	0.0

建設改良費の増により、予算額が増加しました。

⑦ 鯖江市農業集落排水事業会計

令和4年度	令和3年度	増減額	増減率
620,500	647,500	△27,000	△4.2

建設改良費の減により、予算額が減少しました。

2

財政規律の堅持

未来を担う子どもたちに負担を残さないために

現在、鯖江市の財政健全化判断比率における**将来負担比率はマイナス値**であり、将来の世代への負担はない状態です。しかし、今後、少子高齢化社会における扶助費の増大や公共施設の老朽化にかかる施設整備費の増大などに対応していくためには、財政規律の堅持が不可欠です。

1

財政調整基金残高

○財政調整基金残高 25億9,790万円(当初予算時の令和4年度末残高見込)
〈新型コロナウイルス感染症の急速な拡大に迅速かつ的確に対応します!〉

令和3年度の財政調整基金の取り崩し額は、6億580万円で、新型コロナウイルス感染症対策費に充当しています。引き続き、新型コロナウイルス感染症対策や不測の自然災害時にも、時機を逸することのない効果的な施策を迅速かつ的確に対応できるよう、決算剰余金を積み立てるなど、将来を担う子や孫に過大な負担を残さない適切な財政運営に努めてまいります。

2

公共施設等整備基金残高

○公共施設等整備基金残高 4.5億円(当初予算時の令和4年度末残高見込)
〈長期に渡り、安全で快適な公共施設等の管理運営を図ります!〉

鯖江市の公共施設の多くは昭和53年から61年をピークに建設されており、全体の6割以上が築30年以上を経過しています。「鯖江市公共施設等総合管理計画」では、今後40年間の更新費用について、適切な予防保全を実施しても、建物施設で年平均21.5億円、インフラ施設で年平均21.1億円の費用がかかると試算しています。

このことから、増大化する施設の大規模改修費用等に充てるため、令和3年度に「公共施設等整備基金」を設置し、4.5億円の積立を行います(令和3年度3月議会に議案上程中)。

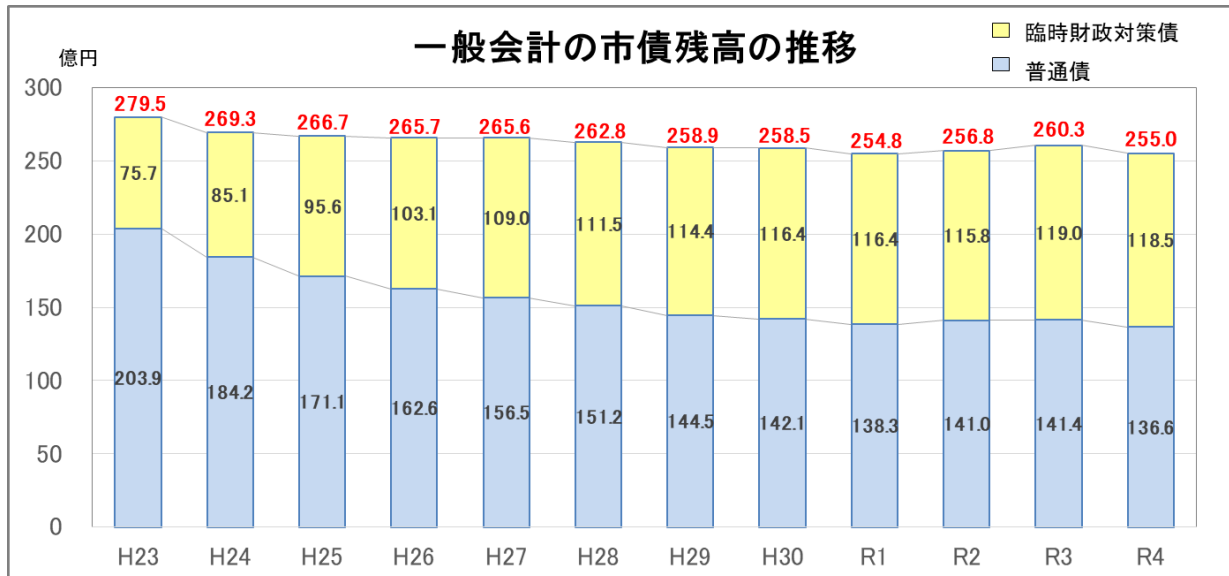
令和4年度も、決算剰余金を積み立てるなどし、長期に渡り、安全で快適な公共施設等の管理運営ができるよう、財政の健全な運営に努めてまいります。

3

一般会計の市債残高

○一般会計市債残高 255億492万円(当初予算時の令和4年度末残高見込)
〈確実に借金を減らしています! 将来に過大な負担を残しません!〉

新規の市債発行額を抑制することで、元利償還金に対し100%交付税措置のある臨時財政対策債を除いた市債(以下、「普通債」)の残高は着実に減少しています。



* 赤字の額は一般会計市債残高です。

* 四捨五入による端数処理のため、合計額が一致しない箇所があります。

* 令和2年度までは決算額、令和3年度は補正後の予算額、令和4年度は当初予算時の金額です。

4 市債残高のうち実質的な負担額

○市債残高のうち実質的な負担額は約30.7%（69.3%は交付税措置）

令和3年度末の市債残高見込額約260億3,364万円の内訳は、普通債が約141億3,540万円、臨時財政対策債が約118億9,824万円です。

臨時財政対策債は交付税の振替であるため後年度に100%普通交付税で措置されます。

また、普通債も、事業費補正により後年度に交付税措置がある、いわゆる優良債を中心に借入を行っており、約40.6%が普通交付税で措置される見込みです。

そのため、令和3年度末の市債残高見込額のうち市が自主財源で償還しなければならない実質的な負担額は、全体の約30.7%、金額にして約80億円となります。今後も、更なる市債残高の減少と優良債の積極的な活用に努めます。

3 歳入の確保

2つの先導的・横断的方針の実現に向けて

鯖江市が特に注力していく2つの方針「育てやすい暮らしやすいまちづくり」と「みんな輝く市民活躍のまちづくり」の実現に向けて、ふるさと納税制度を積極的に活用し、寄附額の一部を「育てやすいまちづくり基金」や「市民協働まちづくり基金」に積み立てを行い、事業実施のための財源の確保に努めます。

1 ふるさと納税制度と本市の取組み

ふるさと納税制度は、個人住民税の寄附金税制の拡充により平成20年から始まりました。地方自治体に対する寄附のうち2,000円を超える部分について、個人住民税所得割額の概ね2割を上限とする金額が所得税と合わせて控除されます。

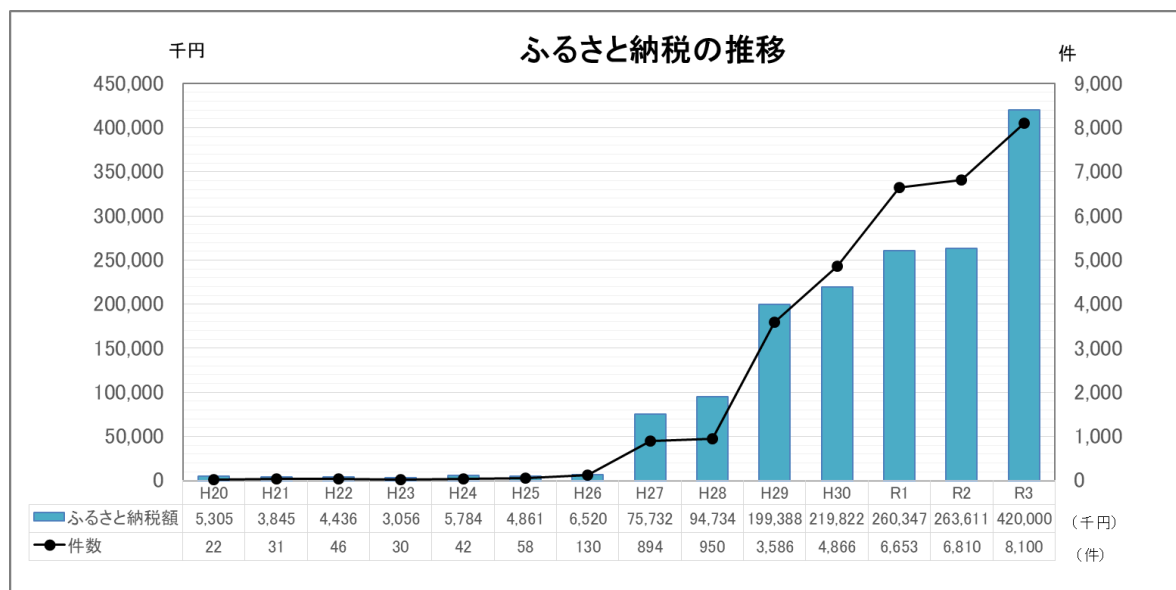
各自治体が工夫を凝らしふるさと納税の獲得に力を入れており、本市は「ふるさとチョイス」「さとふる」「ANAのふるさと納税」「楽天ふるさと納税」など4つのふるさと納税ポータルサイトを利用して本市へのふるさと納税寄附を全国に呼びかけてきました。令和3年度は、「ふるなび」のサイトからも納税寄附を可能とし、本市への寄附者の機会の拡大と利便性の向上に努めました。

また、市内の地場産業を中心とした特色ある返礼品の充実を図ることにより「さばえの魅力」を全国各地に広く発信することで、ふるさと納税寄附額の増加につなげることも必要です。令和3年度は、眼鏡引換券の使用可能店舗を（一社）福井県眼鏡協会直営の市内と東京の2店舗から、市内県内も含む全国42店舗に拡大。加えて全国に66店舗を展開する市内眼鏡メーカーの眼鏡引換券を返礼品に追加し、より多くの人に鯖江産の眼鏡を手にとっていただけるよう取組んできました。

さらに、現代の生活様式に対応した漆器製品や食品など210品目余の特産品を追加し、返礼品の充実を図っています。

2 本市のふるさと納税寄附金額の推移

令和3年度のふるさと納税寄附金は、令和4年1月末現在で、前年度を大きく上回っています。このことから令和3年度の寄附額・寄附件数は、前年を上回る総額4億2,000万円、約8,100件を見込んでいます。



* 令和3年度は、年度末見込みの金額・件数です。

3 令和4年度における変更点

本市は国内シェア90%超の眼鏡フレーム産地であり、眼鏡を返礼品として扱うことができる唯一の自治体です。より多くの人に鯖江産の眼鏡に関心を持ってもらえるよう、眼鏡引換券の利用可能店舗数を拡充することや、サングラス、シニアグラス等の充実などを、これまでの取り組みに加えて実施することで、新たな支援層の確保を図ります。また、眼鏡以外の返礼品についても、魅力ある食品や製品を随時開拓し、本市が誇る質の高い特産品を、全国各地に広く発信していきます。さらに、利用可能なふるさと納税ポータルサイトを増やし、寄附者の機会の拡大と利便性の向上に努めます。

こうした取り組みの効果を見込み、令和4年度は、令和3年度予算に2億円を追加した5億円を歳入予算として計上しました。

重点的施策

令和4年度当初予算では、めまぐるしく移り変わる社会情勢にスピード感を持って対応し、時宜にかなった市民サービスを展開していくために、先導的・横断的な方針として7つのテーマを設け、市として重点的に取り組んでいくこととしました。そのテーマとは、「育てやすい暮らしやすいまちづくり」「みんな輝く市民活躍のまちづくり」「市内産業の応援」「脱炭素社会の実現」「DXの推進」「新型コロナウイルス感染症対策」「新幹線開通・万博開催を見据えた事業」の7つです。令和4年度は、これらの事業の新規・拡充のために約13.5億円の予算を計上し、笑顔があふれる「めがねのまちさばえ」を目指します。

また、今回の当初予算では「若手職員提案」や、すべての課のすべてのグループが新規事業を立案する「1グループ1事業企画立案」を導入し、職員一人一人が原点に立ち返り、担当分野で今何が必要とされているかを真摯に考え、挑戦していく姿勢を「事業」として実現化できる仕組みをつくりました。

1

育てやすい暮らしやすいまちづくり

(1) 子育て

【拡充】こんにちは赤ちゃん事業

4, 337千円

保健師等が生後4か月までの母子を訪問し、不安や悩みを聴き、相談支援を行います。また、生後9～11か月時にも同様の訪問を開始します。

【拡充】産後ケア事業

695千円

退院直後で育児支援を必要とする母子に対し、日帰りまたは宿泊で心身のサポート等を提供します。また「産後カフェ」を定例で開催し、健やかな育児を支援します。

【新規】子ども子育てトータルサポート事業

8, 211千円

子育て世帯を応援するため、産まれる前から小学校に入学するまでの子どもの成長過程に応じてニーズの高い様々な支援を包括的に実施し、育児の相談や支援事業の参加につなげます。

・育児『ほっと一息』応援事業

1, 620千円

生後6か月の乳児の保護者に「Mama's happy hour card」（子育て支援センターにじいろでの子ども一時預かり無料券）を配布します。

・赤ちゃん訪問おむつ配布事業

2, 400千円

生後4か月と9～11か月に保健師等が訪問する際に、おむつをお届けします。

・絵本購入補助事業

600千円

1歳半健診時に、絵本等を購入できる図書カード（1千円分）を贈呈します。

・祝小学1年生入学おめでとう事業

3, 000千円

小学校入学式に、入学祝いとして、商品券（5千円分）を贈呈します。

・その他各種応援事業

591千円

パパママ育児応援事業、トイレトレーニング講座事業、育児用品3R事業（使わなくなった育児用品を回収、無料配布）などを実施します。

【拡充】保育士確保・定着支援事業**9, 7 2 1 千円**

新卒保育士の確保や潜在保育士掘り起こし、労働環境の改善による離職防止および保育職の魅力の発信を、総合的なパッケージとして実施します。

・【新規】保育士等就職チャレンジ応援事業**1, 1 2 0 千円**

未就労の保育士有資格者等に対して、3日間の就労を限度に給付金を支給し、就労体験を通じた職場復帰への不安の軽減およびミスマッチによる就職後の早期離職を防止します。

・【新規】保育士等トライアル雇用支援事業**1, 9 8 0 千円**

非正規雇用を希望する保育士等を新たに雇用し、人材確保を行う事業主に対し、雇用に必要な経費の一部を補助します。

・【新規】保育士の働き方改革への巡回支援事業**3, 0 0 0 千円**

保育士の働き方の見直しや定着管理、勤務環境の整備等、業務負担軽減に関し、助言や指導の巡回支援を行います。

・【新規】保育士等資格取得支援事業費補助金**1 3 0 千円**

市内保育所等に就労し、資格取得を目指す保育補助者や市内保育所等の就労予定者に、保育士資格取得に必要な受験料を補助します。

・その他の保育士確保・定着支援事業**3, 4 9 1 千円**

保育士さんウェルカム事業、保育士さんありがとう事業、若手保育士給与改善事業費補助等の事業を実施します。

【新規】保育士等処遇改善事業**8 5, 0 1 7 千円**

私立、公立の保育所、こども園の保育士や放課後児童クラブの支援員の処遇を改善するため、月額3%程度の給与を上乗せします。

【継続】保育所給食費補助事業**2 1, 0 6 0 千円****【継続】幼稚園給食費補助事業****1, 0 8 9 千円**

コロナ禍を背景に、私立保育所・幼稚園等の園児の給食費の半額相当(月額2, 2 5 0 円)を補助し、保護者の負担軽減を図ります。公立保育所の給食費については、実費負担の半額相当(月額2, 2 5 0 円)の歳入を減額し、保護者の負担軽減を図ります。

・公立保育所の保護者実費負担 歳入減**△ 1 0, 6 8 8 千円****・実質事業費****3 2, 8 3 7 千円****【継続】小中学校給食費補助事業****1 1 1, 0 1 8 千円**

コロナ禍を背景に、小学生の給食費の半額相当(月額2, 5 0 0 円)を補助し、保護者の負担軽減を図ります。中学生の給食費については、従来通り1/3を市が負担することに加え、実費負担の半額相当(月額2, 5 0 0 円)の歳入を減額し、保護者の負担軽減を図ります。

・中学校の保護者実費負担 歳入減**△ 5 7, 7 5 0 千円****・実質事業費****1 6 8, 7 6 8 千円****【新規】子育て世代応援企業認定事業****6, 8 0 0 千円**

子育てと仕事が両立できる職場環境づくりを積極的に行っている市内企業を認定し、認定企業への県外からの移住・就職に移住就業奨励金を支給します。

【拡充】ひとり親家庭児童学習支援事業**5, 9 0 0 千円**

ひとり親家庭の児童に対し、学習支援等を行い、児童の居場所を提供します。遠隔地在住の児童のためのサテライト教室の開催や、リモートでの開催を実施します。

【新規】小学生スポーツ体験事業**8 5 0 千円**

市内小学生を対象にスポーツ少年団の体験を推進し、基礎体力の向上を図ります。

【新規】ジュニア司書養成講座開催事業**302千円**

ジュニア司書養成講座を開催し、講座を修了した児童をジュニア司書として認定することで、読書に関する興味を喚起します。

【新規】「絵本をたのしむー絵本原画展」開催事業**3,000千円**

クリヨウジにちなみアニメ、漫画やイラストに親しんでもらう企画展を開催します。（『ペネロペシリーズ』の作家ゲオルグ・ハレンスレーベン&アン・グッドマン夫妻による絵本原画展を開催予定。）

【新規】鯖江・中央中学校冬期通学バス運行支援事業**5,000千円**

子育て世帯の経済的負担の軽減ならびに冬期間の生徒の登下校の安全を考慮して、鯖江・中央中学校のスクールバス利用者に対して一律の助成を行います。

【新規】中学校施設整備費（補助）**11,000千円**

令和6年度予定の鯖江中学校長寿命化改修に向け、施設耐力度調査を行います。

（2）暮らし

【新規】コミュニティバス車両更新事業**57,500千円**

平成22年に導入したコミュニティバス車両6台のうち2台を更新します。また、購入車両のバスデザインについて、現行デザインをベースに更新します。

【新規】書かない窓口事業**14,500千円**

市民の住所異動等に係る申請書を書く手間を極力省き、申請にかかる負担軽減や受付時間を短縮し市民サービスの向上を図ります。

【新規】総合窓口デジタルサポート推進事業**3,700千円**

外国人を含め誰にでも優しい案内窓口として、タブレットを用いた庁内案内や、WEB申請等のサポートを行うことで、市民の申請手続きの負担軽減を図ります。

【拡充】女性活躍プラットフォーム創出事業**930千円**

働く女性が輝けるまちづくりを推進するため、市内の企業リーダーを対象にした女性活躍トップセミナーおよび意見交換会等を開催します。

【新規】個別避難計画作成補助事業**350千円**

個別避難計画作成が努力義務化されたことに伴い、その作成手順の検証を行うために、モデル町内を抽出し、令和5年度からの計画作成の本格化に向けて様々な立場の関係者と連携・協働した仕組みの構築を図ります。

【新規】個人宅防犯カメラ設置補助事業**2,000千円**

市内における犯罪抑止力の向上や安全で安心なまちづくりの推進を図ることを目的に、一般家庭の防犯カメラ設置に対して補助（補助率1/2、上限2万円）を行います。

【新規】市政情報発信におけるLINE活用事業**2,260千円**

LINEアカウント運用ツールを導入し、友だち登録者を属性分けすることで、各々のニーズに合った市政情報を配信します。

【新規】在宅理容・美容出張サービス利用助成事業**511千円**

要介護3以上に認定された在宅の高齢者で店舗などに出向いて理髪・整髪を行う事が困難な方が、理美容業者に出張サービスを依頼したときの費用（上限5千円）を年1回助成します。

- 【新規】障害福祉サービス施設整備・人材育成補助金 2,400千円
市内で新規に国県補助対象とならない障害福祉サービス事業所を開設する場合や、市内障がい福祉サービス事業所で働く方が、市指定の資格を取得する場合に、助成金を支給します。
- 【拡充】子宮頸がん予防接種積極的勧奨事業 48,370千円
子宮頸がん予防接種について積極的な勧奨の差控えにより接種機会を逃した方に対して公平な接種機会を確保する観点から、定期接種の対象であった女子に公費負担で予防接種を行います。
- 【新規】防災情報発信推進事業費 9,934千円
市管理の道路や河川にカメラや水位計を設置し、県や丹南 CATV の WEB を活用しながら、リアルタイムで市民へ防災情報を発信することで、自主的な避難や防災活動に繋げ、防災・減災に努めます。
- 【新規】除雪オペレーター育成支援事業費 1,400千円
除雪協力企業の減少、除雪オペレーターの高齢化など、将来的な人員不足に対応するため、除雪機械の運転免許取得者に対し補助をします。
- 【新規】都市計画マスタープラン改定事業 10,000千円
将来のまちづくりの方針となる鯖江市都市計画マスタープランの改定を行います。
- 【新規】日野川緑地（左岸）整備事業 22,000千円
日野川左岸に、健康づくりやレクリエーションに利用できる憩いの場として公園を整備します。
- 【新規】駐車場満空システム導入事業 1,165千円
嚮陽会館前およびふれあい広場駐車場の満空状況がホームページで確認できるシステムを導入し、利用者の利便性を高めます。
- 【新規】水道管漏水対策事業 430千円
水道管漏水による事故が発生した場合、大きな被害が想定される JR 軌道横断箇所等に漏水監視装置を設置し、常時監視することにより、事故の未然防止対策を行います。

2

みんな輝く市民活躍のまちづくり

- 【拡充】融和と協働のまちづくり事業交付金 78,753千円
区長会連合会の円滑な運営、各自治会や各地区の自主的なまちづくりの運営に対する支援として、交付金を交付します。各地区の特色を活かしたまちづくりや町内のコミュニティづくりに対し、新たな交付金を設け、活動を推進します。
- 【拡充】融和と協働のまちづくり事業補助金 2,800千円
自治会の円滑な活動を支援するため、地域の活動に対して補助を行います。また、申請要件や申請方法を見直し、申請者の負担の軽減を図ります。
- 【新規】区長会ネットワーク整備事業費補助金 3,000千円
区長会連合会や町内会組織が円滑・迅速な情報伝達を行うためのネットワーク構築にかかる初期費用を補助します。
- 【新規】市民活躍プロモーション事業 4,500千円
市全体をパビリオンに見立て、「市民活躍 EXPO」を開催し、北陸新幹線延伸や大阪関西万博、市制70周年などに向け、「市民力」の更なる向上と「市民活躍」による誘客を図ります。

【拡充】学生連携事業**5, 400千円**

若者目線のアイデアを活かしたまちづくりを推進するとともに、地域の未来を育てる市民の育成を図ります。

・【拡充】めがねのまちさばえ探究活動事業**1, 500千円**

連携協定を締結している鯖江高校および明治大学と協働し、地域の未来を育てる市民の育成を図ります。

・【拡充】JK課プロジェクト事業**1, 250千円**

女子高生によるまちづくりチーム（鯖江市役所 JK 課）が企画し、大人を巻き込みながら地域活動を実践することを通じ、若者や女性が進んで行政参加を図っていく新たなモデル都市となることを目指します。

・【継続】若者による地域活性化推進事業**1, 000千円**

全国の大学生と地元高校生による若者目線でのアイデアを活かしたまちづくり提案を行い、具現化を検討することで地域活性化につなげます。

・【新規】その他学生連携の新規事業**1, 650千円**

地域活性化プランコンテストで高校生や大学生から提案を受けた事業などを実施します。（交流寺プロジェクト事業、めがね婚プロジェクト事業、春・さばえスタートアップ事業）

【拡充】市民協働まちづくり基金事業補助金**4, 000千円**

「まちづくり基金」を活用し、市民団体が自主・自発的に行うまちづくりに役立つ公益的事業の実践を促進するため、補助金を交付します。

【新規】土木女子（ドボジョ）×JK課プロジェクト**200千円**

JK 課と現役土木女子とのコラボにより、土木・建設業分野への女性進出に焦点を当て、若者や女性が活躍して働ける職種分野としてのイメージアップを図るための PR を行います。

【拡充】めがねのまちさばえSDGs発信事業**4, 950千円**

市内で活躍する若者や女性を中心とした市民活動などの情報発信コンテンツを制作し、国内外に発信します。また、行政、企業、学校が取り組む SDGs の行動を見える化した、市民参加型の「さばえ SDGs フェス」を開催します。

【新規】市民フォトグラファー活躍事業**100千円**

広報さばえの表紙等を飾る素敵な写真を随時公募し、写真が採用された方に賞品を進呈します。

【新規】地域運動部活動推進事業費**3, 380千円**

生徒にとって望ましい指導の実現と教員の働き方改革を図るため、休日の部活動について、市内のスポーツクラブと連携し、部活動の地域移行を推進します。本年度は市内中学校の10の部活の休日活動について地域への移行を進めます。

3**市内産業の応援****【新規】チームさばえ出展販路開拓支援事業****12, 165千円**

さばえのものづくりに欠かせない金型、金属加工、表面処理等の技術力を中心とする市内企業群による「チームさばえ」共同ブースを国内見本市に出展し、参加企業の販路拡大、「めがねのまちさばえ」のブランド力向上を目指します。

【新規】さばえものづくりビジネスマッチング支援事業**7, 140千円**

ものづくりに強いビジネスマッチングサイトを活用することで、新たなビジネスパートナーの掘り起こしを支援します。

- 【継続】海外で売れる商品開発支援事業** 3,000千円
越前漆器協同組合が平成29年から令和2年に製作したインバウンド対応商品の市場調査（欧州中心）と商品のブラッシュアップを行い、海外販路開拓を支援します。
- 【新規】プロモーション能力向上セミナー事業** 1,800千円
鯖江商工会議所との連携により、市内企業のプロモーション能力および発信力強化による企業収益力向上を目的としたセミナー等を開催します。
- 【新規】津田塾大学学生提案共同事業「さばえウィーク」** 2,000千円
津田塾大学との連携事業として行ってきた新商品開発事業の成果品のPRに加え、首都圏における本市の地場産業PRイベントとして「さばえウィーク」を開催します。
- 【継続】脱炭素を通じた市内産業・企業支援事業** 2,000千円
鯖江商工会議所、慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科との連携のもと、脱炭素社会で求められるESG経営や新商品開発を中心に地域産業の課題解決の支援を行います。
- 【新規】女性起業家育成事業** 2,000千円
北陸先端科学技術大学院大学との連携のもと、女性を対象とした起業体験や専門家の指導を通じてビジネスの仕組みや起業の基本を身に付けるプログラムを実施します。
- 【新規】子育て世代応援企業認定事業（再掲）** 6,800千円
子育てと仕事が両立できる職場環境づくりを積極的に行っている市内企業を認定し、認定企業への県外からの移住・就職に移住就業奨励金を支給します。
- 【新規】めがねのまち企業魅力づくりプロジェクト** 400千円
持続可能な「めがねのまちさばえ」の実現に向け、眼鏡業界が働きやすい職場環境となるよう、専門アドバイザーによる企業訪問を行い、ともに課題解決に取り組むことで、若者に魅力ある産業、企業を目指します。
- 【継続】越前漆器購入緊急支援事業** 60,000千円
国内の宿泊業・飲食サービス業・卸売業に対し越前漆器の購入および修理を補助します。
- 【継続】ものづくり振興交付金** 46,900千円
（一社）福井県眼鏡協会、鯖江市繊維協会、越前漆器協同組合が実施する産業活性化事業に対し、交付金を交付します。映画「おしよりん」制作を支援し、地場産業のPRを図る事業に対して交付金を交付します。
- 【継続】さばえのものづくり補助金** 43,720千円
市内中小企業が取り組む情報発信・販路開拓・IT導入による生産性向上・人材育成・新製品新技術開発・経営改善・労働環境改善・起業創業等に対し、補助金による支援を行います。
- 【継続】越前ものづくりの里プロジェクト事業** 21,566千円
丹南地域の伝統工芸の各産地が連携して行う職人の育成や産地の魅力向上に向けた取り組みを支援することで知名度向上と需要拡大を図ります。
- 【継続】「めがねのまち鯖江」元気再生協議会負担金** 6,000千円
地場産業の元気再生を目的に産学官金が一体となって取り組む事業を支援するとともに、市内産業の実態把握と地域ブランド力の向上を目指します。
- 【新規】民泊まちなか支援事業** 10,000千円
中心市街地の空き店舗を活用した賑わい創出と新たな観光需要の掘り起しを目的に、ゲストハウスとコミュニティスペースを整備する事業を支援します。

- 【拡充】さばえエコ農業支援対策事業費** **7,060千円**
化学肥料・農薬等の削減による生物多様性保全、地球温暖化防止などに効果の高い営農活動に取り組む農業者を支援します。
- 【新規】小さな農業チャレンジ応援事業** **2,000千円**
新たな作物の導入や加工品の開発等、農家が行う販売を目的とした新たなチャレンジに要する経費を助成します。
- 【新規】一般法人等参入支援事業** **1,000千円**
一般法人が農業分野に新規参入した場合において、農業経営の初期段階における早期安定を図れるよう、補助を行います。
- 【新規】食品産業の輸出向け施設整備費補助金** **500,000千円**
国産大豆を主原料とした疑似肉の製造を行い、輸出拡大を図る市内食品加工業者が、政府機関の定める輸出条件に対応した経費に対し、補助金を交付します。(県10/10補助)

4 脱炭素社会の実現

- 【新規】脱炭素実行計画策定業務委託事業** **9,200千円**
地域再生エネルギー導入を計画的・段階的に進める戦略計画を策定します。
- 【継続】脱炭素を通じた市内産業・企業支援事業（再掲）** **2,000千円**
鯖江商工会議所、慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科との連携のもと、脱炭素社会で求められる ESG 経営や新商品開発を中心に地域産業の課題解決の支援を行います。
- 【拡充】さばえエコ農業支援対策事業費（再掲）** **7,060千円**
化学肥料・農薬等の削減による生物多様性保全、地球温暖化防止などに効果の高い営農活動に取り組む農業者を支援します。
- 【新規】環境に優しい農業支援事業** **500千円**
農薬や肥料を使用せずに野菜などを栽培する自然栽培農業に関心のある方や、市内で農業を始める方を対象に、初心者向けの講座を業務委託して実施します。
- 【新規】バイオ炭実証実験委託事業** **500千円**
剪定枝などから、CO2 吸着による地球温暖化防止および土壌改良の効果を持つバイオ炭をつくり、農業者の協力で農地にすき込むまでの実証実験を行います。
- 【新規】SABAEボトルフリープロジェクト** **300千円**
市内の公共施設6か所にウォーターサーバーを設置し、マイボトル持参を促すことで、市民の環境問題への意識向上と、ペットボトルなどのごみの削減を目指します。
- 【拡充】めざせ！家庭の生ごみゼロ事業** **1,200千円**
生ごみ分解処理容器等の使用モニターを募集して、その有効性・課題を検証し、生ごみ減量の取組みの普及・推進につなげます。本年度は無償モニターとすることで、生ごみの減量化をよりいっそう促進します。
- 【新規】めざせ！給食生ごみゼロ事業** **2,156千円**
市内小学校1校に、生ごみ分解処理機を設置し、給食生ごみゼロを目指した実証実験を行います。

【新規】生ごみ分解処理機運営事業**300千円**

ラポーゼかわだに設置されている生ごみ分解処理機の保守管理およびモニタリングを指定管理者に委託し、周辺住民を含む生ごみの減量化を図るとともに、出来た堆肥については、学校給食畑等で利用することで、資源循環を目指します。

【新規】雑がみ資源化推進事業**0千円**

ごみ減量化のため、ごみ袋への記名のお願いと、市配布の雑紙回収袋や資源ごみステーションの雑紙回収用コンテナの利用普及について、職員が各町内に説明に伺い、雑紙の資源化について市民の関心が高まるよう努めます。（ゼロ予算事業）

【新規】SDGs教育推進事業**926千円**

SDGsの理念を中学生が理解し、自分事として行動につなげるための講演会等を開催します。また、小学生はSDGs推進センター等を訪問し、SDGsについて学ぶ機会を設けます。

5 DXの推進

【新規】コミュニティバス乗降数カウントシステム構築事業**1,287千円**

利用状況の把握に必要な資料作成の事務効率化を図り、将来のバス運行ルート・ダイヤの改正に必要な資料とするため、システム構築を図ります。

【新規】庁内コミュニケーション基盤運営事業**5,700千円**

「住民の利便性の向上」「業務効率化」「新たなサービスの創出・提供」を推進するための庁内コミュニケーションツール（Microsoft 365）を一部導入し、全庁的な運用に向けての課題の洗い出しを行います。

【新規】書かない窓口事業（再掲）**14,500千円**

市民の住所異動等に係る申請書を書く手間を極力省き、申請にかかる負担軽減や受付時間を短縮し市民サービスの向上を図ります。

【新規】区長会ネットワーク整備事業費補助金（再掲）**3,000千円**

区長会連合会や町内会組織が円滑・迅速な情報伝達を行うためのネットワーク構築にかかる初期費用を補助します。

【新規】法務局との課税データ連携システム構築事業**12,826千円**

法務局が発行する土地・家屋登記済通知書を紙ではなくデータで受理し、関係システムへデータ連携が可能なシステムを構築することで、資料作成と手入力の作業時間を削減します。

【新規】住民税申告書作成システム構築事業**858千円**

住民税納税者がWEB上で住民税申告書の作成を行い、QRコードが印字された申告書を紙で出力し提出できるシステムを構築します。あわせて、課税支援システムに連携するデータを作成することで業務の効率化を図ります。

【継続】身の丈IoT事業**1,500千円**

福井工業高等専門学校との連携のもと、生産性の向上を目的に、身の丈IoTの実証モデルをつくり、その成果を市内産業界で共有します。

【継続】儲かるふくい型農業総合支援事業〔スマート農業型〕**4,516千円**

ICT機械の導入による規模拡大を図るための機械・施設等の整備を補助します。
（県10／10補助）

【新規】防災情報発信推進事業費（再掲）**9,934千円**

市管理の道路や河川にカメラや水位計を設置し、県や丹南CATVのWEBを活用しながら、リアルタイムで市民へ防災情報を発信することで、自主的な避難や防災活動に繋げ、防災・減災に努めます。

【新規】駐車場満空システム導入事業（再掲）**1, 165千円**

嚮陽会館前およびふれあい広場駐車場の満空状況がホームページで確認できるシステムを導入し、利用者の利便性を高めます。

6 新型コロナウイルス感染症対策**【継続】保育所給食費補助事業（再掲）****21, 060千円****【継続】幼稚園給食費補助事業（再掲）****1, 089千円**

コロナ禍を背景に、私立保育所・幼稚園等の園児の給食費の半額相当（月額2, 250円）を補助し、保護者の負担軽減を図ります。公立保育所の給食費については、実費負担の半額相当（月額2, 250円）の歳入を減額し、保護者の負担軽減を図ります。

- ・公立保育所の保護者実費負担 歳入減
- ・実質事業費

△10, 688千円
32, 837千円

【継続】小中学校給食費補助事業（再掲）**111, 018千円**

コロナ禍を背景に、小学生の給食費の半額相当（月額2, 500円）を補助し、保護者の負担軽減を図ります。中学生の給食費については、従来通り1／3を市が負担することに加え、実費負担の半額相当（月額2, 500円）の歳入を減額し、保護者の負担軽減を図ります。

- ・中学校の保護者実費負担 歳入減
- ・実質事業費

△ 57, 750千円
168, 768千円

【新規】区長会ネットワーク整備事業費補助金（再掲）**3, 000千円**

区長会連合会や町内会組織が円滑・迅速な情報伝達を行うためのネットワーク構築にかかる初期費用を補助します。

【新規】住民税申告書作成システム構築事業（再掲）**858千円**

住民税納税者がWEB上で住民税申告書の作成を行い、QRコードが印字された申告書を紙で出力し提出できるシステムを構築します。あわせて、課税支援システムに連携するデータを作成することで業務の効率化を図ります。

【継続】住居確保給付金**3, 600千円**

離職により住宅を失った、または恐れある生活困窮者等に対し家賃相当を有期で支給します。

【新規】自立支援金事業**5, 160千円**

社会福祉協議会の小口資金、生活福祉資金の初回貸付を終了した人等に自立支援金を交付します。

【継続】新型コロナウイルスワクチン接種対策費**100, 000千円**

新型コロナワクチン1・2回目接種の継続に加え、3回目の追加接種を実施します。また、令和4年3月より開始予定の小児（5歳から11歳）の接種を実施します。

【継続】新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費**100, 000千円**

新型コロナウイルス感染症のワクチン接種を実施するための体制を確保します。

【継続】新型コロナウイルス対策費（タクシー運賃助成）**2, 000千円**

ワクチン集団接種会場等に自家用車等で行けない65歳以上の高齢者や障がい者に対し、タクシーの費用を一部負担することで交通手段を確保するとともに、ワクチン接種率の向上を図ります。

【継続】越前漆器購入緊急支援事業（再掲） 60,000千円

国内の宿泊業・飲食サービス業・卸売業に対し越前漆器の購入および修理を補助します。

【継続】新型コロナウイルス対策費（消耗品等購入） 21,650千円

市庁舎や公共施設等で使用する消毒液等の新型コロナウイルス感染症対策の消耗品を購入します。

7 新幹線開通・万博の開催を見据えて

【新規】並行在来線運行支援事業費 22,000千円

福井県並行在来線準備会社の準備資金等として、第2次出資金を出資します。

【新規】市民活躍プロモーション事業（再掲） 4,500千円

市全体をパビリオンに見立て、「市民活躍 EXPO」を開催し、北陸新幹線延伸や大阪関西万博、市制70周年などに向け、「市民力」の更なる向上と「市民活躍」による誘客を図ります。

【新規】地域ブランディング価値向上構築事業 3,500千円

「選ばれるまち」としての地域ブランド価値向上を目指すため、より効果的なシティプロモーションについて、市民等と共に検討するワークショップを開催し、新たな手法や施策を検討し、戦略を構築します。

【継続】海外で売れる商品開発支援事業（再掲） 3,000千円

越前漆器協同組合が平成29年から令和2年に製作したインバウンド対応商品の市場調査（欧州中心）と商品のブラッシュアップを行い、海外販路開拓を支援します。

【継続】脱炭素を通じた市内産業・企業支援事業（再掲） 2,000千円

鯖江商工会議所、慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科との連携のもと、脱炭素社会で求められる ESG 経営や新商品開発を中心に地域産業の課題解決の支援を行います。

【新規】民泊まちなか支援事業（再掲） 10,000千円

中心市街地の空き店舗を活用した賑わい創出と新たな観光需要の掘り起しを目的に、ゲストハウスとコミュニティスペースを整備する事業を支援します。

【継続】丹南地域周遊・滞在型観光推進事業負担金 3,588千円

「丹南地域周遊・滞在型観光推進計画」に基づき、エリア内の5市町が連携して取り組む観光誘客事業に対し、事業費の一部を負担します。

【新規】北陸新幹線関連道路整備事業費 101,175千円

北陸新幹線事業に伴う、市道付け替え工事など、鉄道運輸機構からの依頼により工事を実施します。（鉄道運輸機構10/10補助）

【新規】都市計画マスタープラン改定事業（再掲） 10,000千円

将来のまちづくりの方針となる鯖江市都市計画マスタープランの改定を行います。

【新規】福井ふるさと広域景観形成事業 2,400千円

新幹線に見える『弁財天古墳群・今北山古墳群』について展望所整備ならびに修景事業として支障樹木伐採および解説看板の設置を行います。

若手職員提案

令和4年度の当初予算では、下記5事業の「若手職員提案」を採用しました。

- 【新規】シンプル手続推進事業 0千円
市民が市役所窓口で、何枚も同じような申請書を書くことや、複数の課へ行く手間をなくするため、市役所での申請手続きの軽減を検討し改善します。(ゼロ予算事業)
- 【新規】ゲームで解決！空き家スキットレンジャー 145千円
市内の中学校や健康寿命ふれあいサロンに出向き、職員考案のボードゲームを活用した空き家問題啓発事業を推進します。
- 【新規】職員表彰事業（改善事例表彰） 180千円
業務改善等で、優れた成果を上げた職員を表彰します。
- 【新規】常用品一括管理事業 2,800千円
各課単位で発注・納品管理していたコピー用紙を契約管理課が一括で発注し、より適正に管理するとともに、各課の事務量の軽減を図ります。
- 【新規】西山公園イルミネーション事業 4,000千円
既存のイルミネーション事業と連動した西山公園内の回遊性を向上させるイルミネーションを実施することで、鯖江の冬季のナイト観光を視野にモデル事業を展開します。

1 グループ1 事業企画立案

令和4年度の当初予算では、46事業（総事業費90,566千円）を採用しました。

- 【新規】書かない窓口事業（再掲） 14,500千円
市民の住所異動等に係る申請書を書く手間を極力省き、申請にかかる負担軽減や受付時間を短縮し市民サービスの向上を図ります。
- 【新規】市政情報発信におけるLINE活用事業（再掲） 2,260千円
LINEアカウント運用ツールを導入し、友だち登録者を属性分けすることで、各々のニーズに合った市政情報を配信します。
- 【新規】保育士等就職チャレンジ応援事業（再掲） 1,120千円
未就労の保育士有資格者等に対して、3日間の就労を限度に給付金を支給し、就労体験を通じた職場復帰への不安の軽減およびミスマッチによる就職後の早期離職を防止します。
- 【新規】防災情報発信推進事業費（再掲） 9,934千円
市管理の道路や河川にカメラや水位計を設置し、県や丹南CATVのWEBを活用しながら、リアルタイムで市民へ防災情報を発信することで、自主的な避難や防災活動に繋げ、防災・減災に努めます。
- 【新規】さばえのものづくりファン創出事業 1,000千円
県外の大学生を対象に、鯖江で生活しながら仕事を体験できるプログラムを開催するとともに、実施後の調査・分析を行い、市内の雇用・移住促進につなげます。

第2期鯖江市まち・ひと・しごと創生総合戦略

「第2期鯖江市まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、令和4年度で3年目を迎えます。引き続き「世界のめがねの聖地SABAE」の確立に向けて、「魅力ある雇用の創出」「若者が住みたくなるまちの創造」「若くて元気なまちの創造」「安心で快適に暮らせるまちの創造」の4つの基本目標に基づいた予算配分を行いました。



1 魅力ある雇用の創出

本市は、眼鏡・繊維・漆器の三大地場産業を中心としたものづくりのまちとして発展してきました。地場産業の蓄積した高度な技術を最大限に活用して、販路拡大に取り組むほか、農業の6次産業化や環境にやさしい農業に取り組むなど、地域産業の活性化の動きを加速させるとともに、ものづくりを支えてきた女性の活躍にも焦点を当て、若者や女性にとって魅力ある雇用の場を創出します。

【拡充】女性活躍プラットフォーム創出事業 930千円
働く女性が輝けるまちづくりを推進するため、市内の企業リーダーを対象にした女性活躍トップセミナーおよび意見交換会等を開催します。

【新規】めがねのまち企業魅力づくりプロジェクト 400千円
持続可能な「めがねのまちさばえ」の実現に向け、眼鏡業界が働きやすい職場環境となるよう、専門アドバイザーによる企業訪問を行い、ともに課題解決に取り組むことで、若者に魅力ある産業、企業を目指します。

【新規】土木女子（ドボジョ）×JK課プロジェクト 200千円
JK課と現役土木女子とのコラボにより、土木・建設業分野への女性進出に焦点を当て、若者や女性が活躍して働ける職種分野としてのイメージアップを図るためのPRを行います。

【新規】ゲームで体感SDGs講座開催事業 410千円
SDGsカードゲームによる体験を行う場を設け、市民や企業等のSDGsの理解度や認知度を深め、行動へとつなげることを目指します。

【新規】子育て世代応援企業認定事業 6,800千円
子育てと仕事が両立できる職場環境づくりを積極的に行っている市内企業を認定し、認定企業への県外からの移住・就職に移住就業奨励金を支給します。

【新規】チームさばえ出展販路開拓支援事業 12,165千円
さばえのものづくりに欠かせない金型、金属加工、表面処理等の技術力を中心とする市内企業群による「チームさばえ」共同ブースを国内見本市に出展し、参加企業の販路拡大、「めがねのまちさばえ」のブランド力向上を目指します。

【新規】さばえものづくりビジネスマッチング支援事業 7,140千円
ものづくりに強いビジネスマッチングサイトを活用することで、新たなビジネスパートナーの掘り起こしを支援します。

【新規】プロモーション能力向上セミナー事業 1,800千円
鯖江商工会議所との連携により、市内企業のプロモーション能力および発信力強化による企業収益力向上を目的としたセミナー等を開催します。

【継続】脱炭素を通じた市内産業・企業支援事業 2,000千円
鯖江商工会議所、慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科との連携のもと、脱炭素社会で求められるESG経営や新商品開発を中心に地域産業の課題解決の支援を行います。

- 【新規】津田塾大学学生提案共同事業「さばえウィーク」 2,000千円
津田塾大学との連携事業として行ってきた新商品開発事業の成果品のPRに加え、首都圏における本市の地場産業PRイベントとして「さばえウィーク」を開催します。
- 【新規】女性起業家育成事業 2,000千円
北陸先端科学技術大学院大学との連携のもと、女性を対象とした起業体験や専門家の指導を通じてビジネスの仕組みや起業の基本を身に付けるプログラムを実施します。
- 【継続】サテライトオフィス誘致事業 1,700千円
本市の魅力を発信することでIT系企業のサテライトオフィスを誘致し、若者や女性に魅力的な雇用創出と空き家の利活用を目指します。
- 【継続】さばえのものづくり補助金 43,720千円
市内中小企業が取り組む情報発信・販路開拓・IT導入による生産性向上・人材育成・新製品新技術開発・経営改善・労働環境改善・起業創業等に対し、補助金による支援を行います。
- 【継続】工場立地助成金 128,180千円
市内で工場等の新設や増設を行った企業に対して助成することで、企業等の誘致を進め、地域の産業発展を目指します。
- 【新規】環境に優しい農業支援事業 500千円
農薬や肥料を使用せずに野菜などを栽培する自然栽培農業に関心のある方や、市内で農業を始める方を対象に、初心者向けの講座を業務委託して実施します。
- 【拡充】6次産業化応援事業 1,393千円
さばえ菜花や吉川ナス、マルセイユメロン等の鯖江産農産物の加工品開発や販路拡大を進める事業者を支援します。
- 【拡充】さばえエコ農業支援対策事業費 7,060千円
化学肥料・農薬等の削減による生物多様性保全、地球温暖化防止などに効果の高い営農活動に取り組む農業者を支援します。
- 【新規】最適土地利用対策事業 1,250千円
荒廃農地対策を地域ぐるみで実施する際の計画策定や緑肥・景観作物種子代等に係る経費を助成します。
- 【新規】小さな農業チャレンジ応援事業 2,000千円
新たな作物の導入や加工品の開発等、農家が行う販売を目的とした新たなチャレンジに要する経費を助成します。
- 【新規】経営継承・発展支援事業 2,000千円
農業の経営継承者が、従前の経営より発展させる場合に費用の一部を補助します。
- 【新規】新規就農者育成総合対策事業 2,092千円
49歳以下の新規就農者等の就農開始段階における経営を総合的に支援します。
- 【新規】一般法人等参入支援事業 1,000千円
一般法人が農業分野に新規参入した場合において、農業経営の初期段階における早期安定を図れるよう、補助を行います。
- 【新規】食品産業の輸出向け施設整備費補助金 500,000千円
国産大豆を主原料とした疑似肉の製造を行い、輸出拡大を図る市内食品加工業者が、政府機関の定める輸出条件に対応した経費に対し、補助金を交付します。(県10/10補助)

2 若者が住みたくなるまちの創造

本市は、若者や女性を市政のパートナーとして、柔軟で豊かな発想や想像力を市政に活かしてきました。全ての市民が主体的にまちづくりに参加できる「市民主役」「市民協働」の取り組みを加速させるほか、シティプロモーションを強化するなど関係人口の獲得にも取り組むとともに、地域資源を活かした観光を推進します。

【拡充】融和と協働のまちづくり事業交付金 78,753千円

区長会連合会の円滑な運営、各自治会や各地区の自主的なまちづくりの運営に対する支援として、交付金を交付します。各地区の特色を活かしたまちづくりや町内のコミュニティづくりに対し、新たな交付金を設け、活動を推進します。

【拡充】融和と協働のまちづくり事業補助金 2,800千円

自治会の円滑な活動を支援するため、地域の活動に対して補助を行います。また、申請要件や申請方法を見直し、申請者の負担の軽減を図ります。

【新規】市民活躍プロモーション事業 4,500千円

市全体をパビリオンに見立て、「市民活躍 EXPO」を開催し、北陸新幹線延伸や大阪関西万博、市制70周年などに向け、「市民力」の更なる向上と「市民活躍」による誘客を図ります。

【拡充】学生連携事業 5,400千円

若者目線のアイデアを活かしたまちづくりを推進するとともに、地域の未来を育てる市民の育成を図ります。

・【拡充】めがねのまちさばえ探究活動事業 1,500千円

連携協定を締結している鯖江高校および明治大学と協働し、地域の未来を育てる市民の育成を図ります。

・【拡充】JK課プロジェクト事業 1,250千円

女子高生によるまちづくりチーム（鯖江市役所 JK 課）が企画し、大人を巻き込みながら地域活動を実践することを通じ、若者や女性が進んで行政参加を図っていく新たなモデル都市となることを目指します。

・【継続】若者による地域活性化推進事業 1,000千円

全国の大学生と地元高校生による若者目線のアイデアを活かしたまちづくり提案を行い、具現化を検討することで地域活性化につなげます。

・【新規】その他学生連携の新規事業 1,650千円

地域活性化プランコンテストで高校生や大学生から提案を受けた事業などを実施します。
（交流寺プロジェクト事業、めがね婚プロジェクト事業、春・さばえスタートアップ事業）

【拡充】市民協働まちづくり基金事業補助金 4,000千円

「まちづくり基金」を活用し、市民団体が自主・自発的に行うまちづくりに役立つ公益的事業の実践を促進するため、補助金を交付します。

【新規】さばえ暮らしの回覧板 0円

鯖江への移住を検討している方や鯖江に住んでいる方に「住んでみたい・住み続けたい」と思ってもらえるよう、鯖江での暮らしを身近に感じられる情報を、市公式ホームページを活用して発信します。

- 【新規】子どもの「笑顔」いっぱいフォトプロジェクト 248千円
「鯖江の子どもの笑顔」がテーマの写真を、市公式インスタグラムに投稿してもらい、投稿写真を広報さばえ等で発信するほか、モザイクアート等で写真を展示し、市民に広く発信します。
- 【新規】地域ブランディング価値向上構築事業 3,500千円
「選ばれるまち」としての地域ブランド価値向上を目指すため、より効果的なシティプロモーションについて、市民等と共に検討するワークショップを開催し、新たな手法や施策を検討し、戦略を構築します。
- 【拡充】移住就職支援事業 6,900千円
東京圏への過度な一極集中の是正や県外からの転入を促進するとともに、地域の中小企業等における人手不足を解消し、本市への移住を促すため、移住に係る初期費用の支援を行います。
- 【新規】さばえのものづくりファン創出事業 1,000千円
県外の大学生を対象に、鯖江で生活しながら仕事を体験できるプログラムを開催するとともに、実施後の調査・分析を行い、市内の雇用・移住促進につなげます。
- 【拡充】めがねのまちさばえSDGs発信事業 4,950千円
市内で活躍する若者や女性を中心とした市民活動などの情報発信用コンテンツを制作し、国内外に発信します。また、行政、企業、学校が取り組むSDGsの行動を見える化した、市民参加型の「さばえSDGsフェス」を開催します。
- 【新規】さばえSDGs部設置事業 15千円
SDGsに関心のある高校生や大学生等のためのプラットフォームを設置し、SDGsの目標への理解を深めながら、参加者自らがやりたいことを見つけ行動し、発信します。
- 【新規】市民フォトグラファー活躍事業 100千円
広報さばえの表紙等を飾る素敵な写真を随時公募し、写真が採用された方に賞品を進呈します。
- 【継続】ふるさと納税推進事業 250,000千円
本市が持つ魅力や主要な事業等を全国に向けて積極的にPRするとともに、市内企業の商品を寄附のお礼品とすることで、本市と市内企業の魅力発信と自主財源の確保に努めます。
- 【新規】民泊まちなか支援事業 10,000千円
中心市街地の空き店舗を活用した賑わい創出と新たな観光需要の掘り起しを目的に、ゲストハウスとコミュニティスペースを整備する事業を支援します。
- 【新規】西山公園イルミネーション事業 4,000千円
既存のイルミネーション事業と連動した西山公園内の回遊性を向上させるイルミネーションを実施することで、鯖江の冬季のナイト観光を視野にモデル事業を展開します。
- 【継続】丹南地域周遊・滞在型観光推進事業負担金 3,588千円
「丹南地域周遊・滞在型観光推進計画」に基づき、エリア内の5市町が連携して取り組む観光誘客事業に対し、事業費の一部を負担します。
- 【継続】産業を体験し理解を深める学習事業 1,849千円
児童が本市の地場産業について理解を深めるため、眼鏡・繊維・漆器の製作体験を行います。



3

若くて元気なまちの創造

本市は、近年まで人口増加傾向にあるものの、将来的には人口、特に若い女性の数が減少する見込みであり、今後の人口減少をいかにして食い止めるかが課題です。安心して子どもを産み育てることのできる子育てにやさしい環境づくりに取り組むとともに、心身ともにバランスの取れた健全な子どもの育成や、高齢者が生涯健康で生きがいを持って暮らす環境づくりをし、子どもから高齢者まで全ての市民が笑顔のあふれるまちを創造します。

【新規】自立支援金事業

5, 160千円

社会福祉協議会の小口資金、生活福祉資金の初回貸付を終了した人等に自立支援金を交付します。

【新規】障害福祉サービス施設整備・人材育成補助金

2, 400千円

市内で新規に障害福祉サービス事業所を開設する場合と市が指定した資格を市内事業所が取得する場合に助成金を支給します。

【新規】医療扶助適性化事業

2, 617千円

医療専門員を設置し、被保護者への医療扶助認定内容を的確に把握することにより、適切な医療扶助の実施および年間医療費の削減を図ります。

【新規】高齢者憩の場活動支援事業

500千円

老人クラブといきいきサロンを対象に、各町内公民館等を会場に移動店舗を活用して、高齢者が外で気軽に楽しく健康づくり活動等に参加できるような場を創出します。

【新規】在宅理容・美容出張サービス利用助成事業

511千円

要介護3以上に認定された在宅の高齢者で店舗などに出向いて理髪・整髪を行う事が困難な方が、理美容業者に出張サービスを依頼したときの費用（上限5千円）を年1回助成します。

【新規】子ども子育てトータルサポート事業

8, 211千円

子育て世帯を応援するため、産まれる前から小学校に入学するまでの子どもの成長過程に応じてニーズの高い様々な支援を包括的に実施し、育児の相談や支援事業の参加につなげます。

・育児『ほっと一息』応援事業

1, 620千円

生後6か月の乳児の保護者に「Mama's happy hour card」（子育て支援センターにじいろでの子ども一時預かり無料券）を配布します。

・赤ちゃん訪問おむつ配布事業

2, 400千円

生後4か月と9～11か月に保健師等が訪問する際に、おむつをお届けします。

・絵本購入補助事業

600千円

1歳半健診時に、絵本等を購入できる図書カード（1千円分）を贈呈します。

・祝小学1年生入学おめでとう事業

3, 000千円

小学校入学式に、入学祝いとして、商品券（5千円分）を贈呈します。

・その他各種応援事業

591千円

パパママ育児応援事業、トイレトレーニング講座事業、育児用品3R事業（使わなくなった育児用品を回収、無料配布）などを実施します。

【拡充】保育士確保・定着支援事業**9, 721千円**

新卒保育士の確保や潜在保育士掘り起こし、労働環境の改善による離職防止および保育職の魅力の発信を、総合的なパッケージとして実施します。

・【新規】保育士等就職チャレンジ応援事業**1, 120千円**

未就労の保育士有資格者等に対して、3日間の就労を限度に給付金を支給し、就労体験を通じた職場復帰への不安の軽減およびミスマッチによる就職後の早期離職を防止します。

・【新規】保育士等トライアル雇用支援事業**1, 980千円**

非正規雇用を希望する保育士等を新たに雇用し、人材確保を行う事業主に対し、雇用に要する経費の一部を補助します。

・【新規】保育士の働き方改革への巡回支援事業**3, 000千円**

保育士の働き方の見直しや定着管理、勤務環境の整備等、業務負担軽減に関し、助言や指導の巡回支援を行います。

・【新規】保育士等資格取得支援事業費補助金**130千円**

市内保育所等に就労し、資格取得を目指す保育補助者や市内保育所等の就労予定者に、保育士資格取得に要する受験料を補助します。

・その他の保育士確保・定着支援事業**3, 491千円**

保育士さんウェルカム事業、保育士さんありがとう事業、若手保育士給与改善事業費補助等の事業を実施します。

【新規】保育士等処遇改善事業**85, 017千円**

私立、公立の保育所、こども園の保育士や放課後児童クラブの支援員の処遇を改善するため、月額3%程度の給与を上乗せします。

【新規】エッセンシャルワーカー感謝事業**300千円**

新型コロナウイルス感染症対策に貢献したエッセンシャルワーカーに感謝の意を表するため、感謝状を贈呈します。

【拡充】こんにちは赤ちゃん事業**4, 337千円**

保健師等が生後4か月までの母子を訪問し、不安や悩みを聴き、相談支援を行います。また、生後9～11か月時にも同様の訪問を開始します。

【拡充】子宮頸がん予防接種積極的勧奨事業**48, 370千円**

子宮頸がん予防接種について積極的な勧奨の差控えにより接種機会を逃した方に対して公平な接種機会を確保する観点から、定期接種の対象であった女子に公費負担で予防接種を行います。

【新規】がん患者アピアランスサポート事業**303千円**

がん治療による副作用等で起こる容姿の変化に悩むがん患者に対して、容姿の変化を補うための医療用ウィッグ（かつら）や補正下着等の購入費を補助します。

【新規】めがねのまちさばえアイアイウォーキング**346千円**

コロナ禍であっても誰でも手軽に始められる体力づくりとして、目の健康に関連したウォーキングを提案し、市民の健康増進に繋がります。

【継続】新型コロナウイルスワクチン接種対策費**100, 000千円**

新型コロナワクチン1・2回目接種の継続に加え、3回目の追加接種を実施します。また、令和4年3月より開始予定の小児（5歳から11歳）の接種を実施します。

【継続】新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費**100, 000千円**

新型コロナウイルス感染症のワクチン接種を実施するための体制を確保します。

【継続】新型コロナウイルス対策費（タクシー運賃助成）**2, 000千円**

ワクチン集団接種会場等に自家用車等で行けない65歳以上の高齢者や障がい者に対し、タクシーの費用を一部負担することで交通手段を確保するとともに、ワクチン接種率の向上を図ります。

【継続】保育所給食費補助事業 21,060千円
 【継続】幼稚園給食費補助事業 1,089千円
 コロナ禍を背景に、私立保育所・幼稚園等の園児の給食費の半額相当(月額2,250円)を補助し、保護者の負担軽減を図ります。公立保育所の給食費については、実費負担の半額相当(月額2,250円)の歳入を減額し、保護者の負担軽減を図ります。

・公立保育所の保護者実費負担 歳入減 △10,688千円
 ・実質事業費 32,837千円

【継続】小中学校給食費補助事業 111,018千円
 コロナ禍を背景に、小学生の給食費の半額相当(月額2,500円)を補助し、保護者の負担軽減を図ります。中学生の給食費については、従来通り1/3を市が負担することに加え、実費負担の半額相当(月額2,500円)の歳入を減額し、保護者の負担軽減を図ります。

・中学校の保護者実費負担 歳入減 △57,750千円
 ・実質事業費 168,768千円

【新規】地域運動部活動推進事業費 3,380千円
 生徒にとって望ましい指導の実現と教員の働き方改革を図るため、休日の部活動について、市内のスポーツクラブと連携し、部活動の地域移行を推進します。本年度は市内中学校の10の部活の休日活動について地域への移行を進めます。

【新規】鯖江・中央中学校冬期通学バス運行支援事業 5,000千円
 子育て世帯の経済的負担の軽減ならびに冬期間の生徒の登下校の安全を考慮して、鯖江・中央中学校のスクールバス利用者に対して一律の助成を行います。

【新規】小学生スポーツ体験事業 850千円
 市内小学生を対象にスポーツ少年団の体験を推進し、基礎体力の向上を図ります。

【新規】ジュニア司書養成講座開催事業 302千円
 ジュニア司書養成講座を開催し、講座を修了した児童をジュニア司書として認定することで、読書に関する興味を喚起します。

【新規】青空おはなし会開催事業 98千円
 文化の館前交流広場で青空おはなし会を行い、図書館児童行事のPRを行います。

【新規】まなべ＊学びプロジェクト 430千円
 地域の芸術文化や歴史との「出会い」と「学び」を通して、芸術文化と歴史に身近に感じてもらうとともに、親と子の絆や学びを深めるプロジェクトを実施します。

【新規】古墳でコーフン！バスツアー事業 470千円
 文化財の理解促進のため、「古墳」をテーマに文化財を訪問するバスツアーを実施します。

【新規】福井ふるさと広域景観形成事業 2,400千円
 新幹線の見える『弁財天古墳群・今北山古墳群』について視点場整備ならびに修景事業として支障樹木伐採および解説看板の設置を行います。

【新規】王山古墳群景観整備事業 3,000千円
 市管理の「王山古墳群」に生い茂る灌木ならびに支障樹木の伐採を行います。

【新規】「陸軍歩兵36連隊とさばえ展」開催事業 2,000千円
 近代の神明・立待地区の発展の基礎となった陸軍歩兵第36連隊をテーマに企画展を開催します。

【新規】「絵本をたのしむー絵本原画展」開催事業 3,000千円
 クリウジにちなみアニメ、漫画やイラストに親しんでもらう企画展を開催します。(『ペネロペシリーズ』の作家ゲオルグ・ハレンスレーベン&アン・グッドマン夫妻による絵本原画展を開催予定。)



4 安心して快適に暮らせるまちの創造

各基本目標に掲げた施策の好循環を生み出すためには、市民にとって安全安心で暮らしやすく、住み続けたいと思える魅力的な居住空間・生活空間づくりが欠かせません。二次交通網の整備や、行政手続きのデジタル化による利便性向上、強靱で安全安心なまちづくり、市民との協働による自然環境の保全を推進し、住みやすい良好な生活環境を整えます。

【継続】コミュニティバス運行事業 106,290千円
鯖江市地域公共交通計画に基づき、令和4年4月からダイヤ改正されたコミュニティバスを運行します。

【新規】コミュニティバス車両更新事業 57,500千円
平成22年に導入したコミュニティバス車両6台のうち2台を更新します。また、購入車両のバスデザインについて、現行デザインをベースに更新します。

【新規】コミュニティバス乗降数カウントシステム構築事業 1,287千円
利用状況の把握に必要な資料作成の事務効率化を図り、将来のバス運行ルート・ダイヤの改正に必要な資料とするため、システム構築を図ります。

【新規】並行在来線運行支援事業費 22,000千円
福井県並行在来線準備会社の準備資金等として、第2次出資金を出資します。

【新規】庁内コミュニケーション基盤運營業 5,700千円
「住民の利便性の向上」「業務効率化」「新たなサービスの創出・提供」を推進するための庁内コミュニケーションツール（Microsoft 365）を一部導入し、全庁的な運用に向けての課題の洗い出しを行います。

【新規】書かない窓口事業 14,500千円
市民の住所異動等に係る申請書を書く手間を極力省き、申請にかかる負担軽減や受付時間を短縮し市民サービスの向上を図ります。

【拡充】戸籍システム導入事業 17,655千円
窓口対応の迅速化や事務処理の効率化を図るとともに、全国的な戸籍事務へのマイナンバー制度導入に対応するため、戸籍システムを改修します。

【新規】区長会ネットワーク整備事業費補助金 3,000千円
区長会連合会や町内会組織が円滑・迅速な情報伝達を行うためのネットワーク構築にかかる初期費用を補助します。

【新規】総合窓口デジタルサポート推進事業 3,700千円
外国人を含め誰にでも優しい案内窓口として、タブレットを用いた案内や、WEB申請等のサポートを行うことで、市民の申請手続きの負担軽減を図ります。

【新規】地域女性防災リーダー養成事業 150千円
地域防災の場で、女性が主体的に関わることが重要であることから、男女参画の視点を取り入れた防災対策を推進するため、女性の防災リーダーを育成します。

【新規】個別避難計画作成補助事業 350千円
個別避難計画の作成が努力義務化されたことに伴い、その作成手順の検証を行うために、モデル町内を抽出し、令和5年度からの計画作成の本格化に向けて様々な立場の関係者と連携・協働した仕組みの構築を図ります。

【新規】個人宅防犯カメラ設置補助事業 2,000千円
市内における犯罪抑止力の向上や安全で安心なまちづくりの推進を図ることを目的に、一般家庭の防犯カメラ設置に対して補助（補助率1/2、上限2万円）を行います。

【新規】空き家適正管理促進事業 360千円
空き家管理代行サービスにかかる費用の一部を補助することにより、空き家の老朽化を抑制するとともに利活用にも繋がります。

【新規】市政情報発信におけるLINE活用事業 2,260千円
LINEアカウント運用ツールを導入し、友だち登録者を属性分けすることで、各々のニーズに合った市政情報を配信します。

- 【新規】住民税申告書作成システム構築事業 858千円
住民税納税者がWEB上で住民税申告書の作成を行い、QRコードが印字された申告書を紙で出力し提出できるシステムを構築します。あわせて、課税支援システムに連携するデータを作成することで業務の効率化を図ります。
- 【新規】脱炭素実行計画策定業務委託事業 9,200千円
地域再生エネルギー導入を計画的・段階的に進める戦略計画を策定します。
- 【継続】ごみ収集委託事業 223,149千円
可燃ごみや不燃ごみ、資源物等を収集し、環境美化の保持を図ります。
- 【新規】めざせ！給食生ごみゼロ事業 2,156千円
市内小学校1校に、生ごみ分解処理機を設置し、給食生ごみゼロを目指した実証実験を行います。
- 【継続】集落基盤整備事業 120,000千円
農業生産基盤の整備および農村環境の整備を総合的に実施するとともに、都市と農村の交流促進のための農村交流基盤の条件整備を図り、活力ある農村地域の発展に資します。
- 【継続】多面的機能支払交付金事業費 164,715千円
地域の共同活動により機能維持してきた農地・農業用施設の管理・保全・長寿命化のための活動に対し支援を行います。
- 【新規】防災情報発信推進事業費 9,934千円
市管理の道路や河川にカメラや水位計を設置し、県や丹南CATVのWEBを活用しながら、リアルタイムで市民へ防災情報を発信することで、自主的な避難や防災活動に繋げ、防災・減災に努めます。
- 【拡充】道路除雪費 326,506千円
積雪時の市民生活の安全・安心を確保するため、市道除雪に必要な作業委託や車両借り上げ・リースを行うとともに、除雪機械購入の助成等、地域ぐるみでの除雪に対する補助を行います。
- 【新規】除雪オペレーター育成支援事業費 1,400千円
除雪協力企業の減少、除雪オペレーターの高齢化など、将来的な人員不足に対応するため、除雪機械の運転免許取得者に対し補助をします。
- 【継続】社会資本整備総合交付金事業費 290,990千円
交通ネットワークの整備、道路消雪の整備、土木施設の長寿命化、冠水箇所の解消等を図り、円滑で安全・安心な道路網の整備を行います。
- 【新規】北陸新幹線関連道路整備事業費 101,175千円
北陸新幹線事業に伴う、市道付け替え工事など、鉄道運輸機構からの依頼により工事を実施します。
(鉄道運輸機構10/10補助)
- 【新規】都市計画マスタープラン改定事業 10,000千円
将来のまちづくりの方針となる鯖江市都市計画マスタープランの改定を行います。
- 【新規】西山動物園充実事業 800千円
レッサーパンダの生態や飼育している動物たちを紹介する映像等を制作し、「レッサーパンダのいえ」で上映します。
- 【新規】日野川緑地（左岸）整備事業 22,000千円
日野川左岸に、健康づくりやレクリエーションに利用できる憩いの場として公園を整備します。
- 【新規】駐車場満空システム導入事業 1,165千円
嚮陽会館前およびふれあい広場駐車場の満空状況がホームページで確認できるシステムを導入し、利用者の利便性を高めます。
- 【新規】水道管漏水対策事業 430千円
水道管漏水による事故が発生した場合、大きな被害が想定されるJR軌道横断箇所等に漏水監視装置を設置し、常時監視することにより、事故の未然防止対策を行います。
- 【拡充】GIGAスクール推進事業（小学校） 70,105千円
【拡充】GIGAスクール推進事業（中学校） 36,043千円
国の「GIGAスクール構想」に基づき、多様な子どもたち一人ひとりに個別最適化され、資質・能力が育成できる教育ICT環境を整備します。

5 歳入のポイント

市税収入 92億6,900万円 (9億1,600万円増、11.0%)

景気の動向が、新型コロナウイルス感染症の影響から緩やかに回復していることを考慮し、昨年度、10億8,500万円減したところを9億1,600万円増額し、92億6,900万円としました。

地方交付税 48億8,000万円 (1億3,000万円増、2.7%)

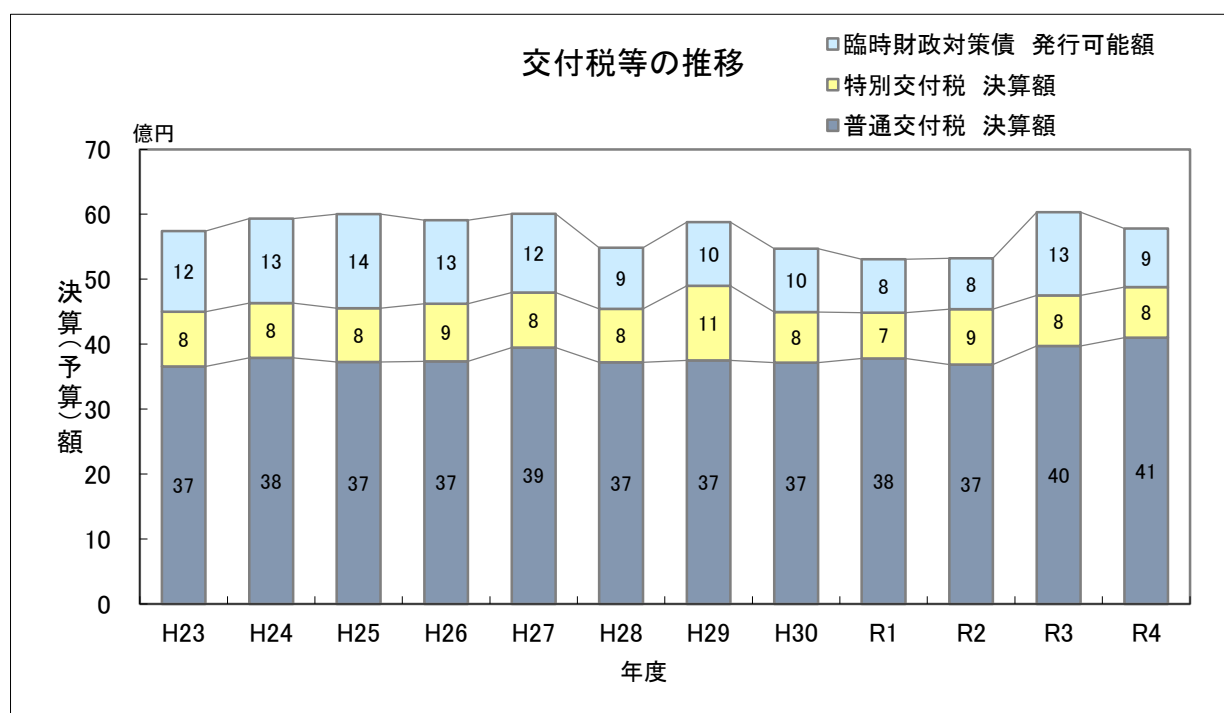
・ **普通交付税** 41億円

令和3年度決算見込みおよび国の「令和4年度地方財政計画」を考慮し、41億円（対前年度当初予算比1億3千万円増）を見込みました。

・ **特別交付税** 7億8,000万円

前年度同額を見込みました

臨時財政対策債（9億円）を加えた実質的な交付税は57億8,000万円（対前年度当初予算比2億5千万円減）となりました。



* 令和3年度および令和4年度は当初予算計上額

市債 20億3,570万円 (4億3,510万円減、△17.6%)

市債の当初予算計上額の比較

(単位: 千円・%)

区 分	令和4年度	令和3年度	増減額	伸率
市 債	2,035,700	2,470,800	△435,100	△17.6
普通建設事業債	1,135,700	1,190,800	△55,100	△4.6
臨時財政対策債	900,000	1,280,000	△380,000	△29.7

一般会計歳入の状況

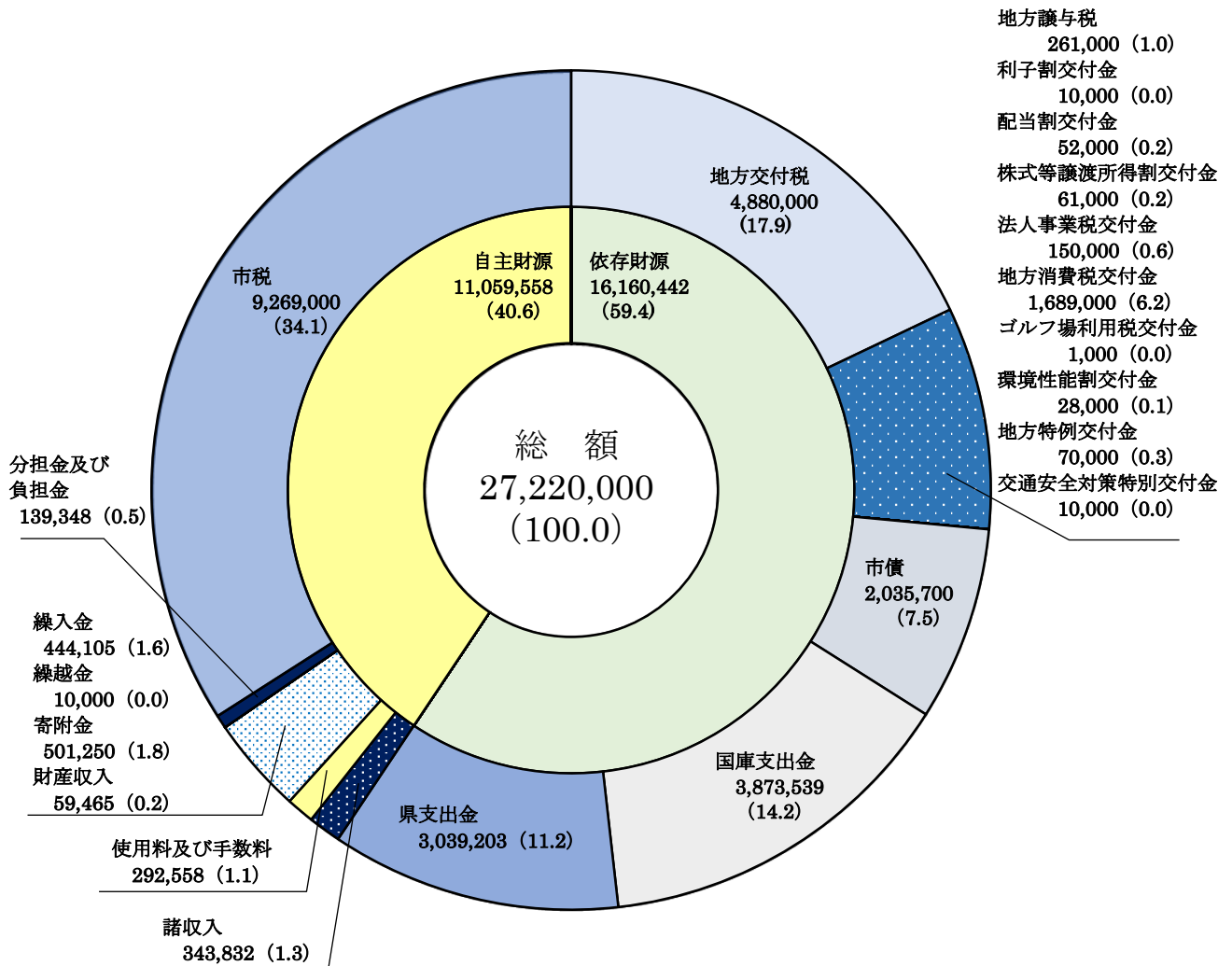
(1) 歳入の内訳

(単位：千円・%)

区 分	令和4年度		令和3年度		増減額	増減率
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比		
市 税	9,269,000	34.1	8,353,000	32.3	916,000	11.0
地 方 譲 与 税	261,000	1.0	248,600	1.0	12,400	5.0
利 子 割 交 付 金	10,000	0.0	10,000	0.0	0	0.0
配 当 割 交 付 金	52,000	0.2	40,000	0.2	12,000	30.0
株式等譲渡所得割交付金	61,000	0.2	25,000	0.1	36,000	144.0
法 人 事 業 税 交 付 金	150,000	0.6	50,000	0.2	100,000	200.0
地 方 消 費 税 交 付 金	1,689,000	6.2	1,400,000	5.4	289,000	20.6
ゴルフ場利用税交付金	1,000	0.0	1,000	0.0	0	0.0
環 境 性 能 割 交 付 金	28,000	0.1	19,000	0.1	9,000	47.4
地 方 特 例 交 付 金	70,000	0.3	542,000	2.1	△472,000	△87.1
地 方 交 付 税	4,880,000	17.9	4,750,000	18.4	130,000	2.7
交通安全対策特別交付金	10,000	0.0	10,000	0.0	0	0.0
分 担 金 及 び 負 担 金	139,348	0.5	165,165	0.6	△25,817	△15.6
使 用 料 及 び 手 数 料	292,558	1.1	307,248	1.2	△14,690	△4.8
国 庫 支 出 金	3,873,539	14.2	3,916,774	15.2	△43,235	△1.1
県 支 出 金	3,039,203	11.2	2,363,111	9.1	676,092	28.6
財 産 収 入	59,465	0.2	61,153	0.2	△1,688	△2.8
寄 附 金	501,250	1.8	302,250	1.2	199,000	65.8
繰 入 金	444,105	1.6	503,105	1.9	△59,000	△11.7
繰 越 金	10,000	0.0	10,000	0.0	0	0.0
諸 収 入	343,832	1.3	299,794	1.2	44,038	14.7
市 債	2,035,700	7.5	2,470,800	9.6	△435,100	△17.6
合 計	27,220,000	100.0	25,848,000	100.0	1,372,000	5.3

(2) 歳入予算款別構成表(一般会計)

(単位：千円・%)



(3) 歳入の概要

自主財源は、市税、寄附金の大幅な増により、前年度当初予算と比較して10億5,784万円、10.6%の増となり、自主財源が歳入に占める割合は40.6%となりました。

※自主財源：市税、分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金、諸収入で、市が自主的に徴収できる財源をいいます。

(単位：千円・%)

区分	令和4年度 (A)		令和3年度 (B)		比較 (A) - (B)	伸率
	当初予算額	全歳入 構成比	当初予算額	全歳入 構成比		
1 市 税	9,269,000	34.1	8,353,000	32.3	916,000	11.0
2 繰入金	444,105	1.6	503,105	1.9	△59,000	△11.7
3 諸収入	343,832	1.3	299,794	1.2	44,038	14.7
4 その他	1,002,621	3.6	845,816	3.2	156,805	18.5
自主財源計	11,059,558	40.6	10,001,715	38.6	1,057,843	10.6

(4) 市 税

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた前年度に比べて景気が緩やかに回復していることから、個人・法人市民税ともに増加を見込み、前年度当初予算比で、個人市民税は8.4%の増、法人市民税は32.1%の増で計上しました。

固定資産税については、減収した個人事業主・法人に対する減免制度の終了に伴い13.9%の増で計上しました。

(単位：千円・%)

区分		令和4年度	令和3年度	増減額	増減率
個人市民税	現年課税分	3,621,000	3,334,000	287,000	8.6
	滞納繰越分	44,000	47,000	△3,000	△6.4
	計	3,665,000	3,381,000	284,000	8.4
法人市民税	現年課税分	584,000	440,000	144,000	32.7
	滞納繰越分	4,000	5,000	△1,000	△20.0
	計	588,000	445,000	143,000	32.1
固定資産税	土地(現年課税分)	1,249,000	1,262,000	△13,000	△1.0
	家屋(現年課税分)	1,964,000	1,604,000	360,000	22.4
	償却資産(現年課税分)	547,000	398,000	149,000	37.4
	その他(現年課税分)	9,000	9,000	0	0.0
	現年課税分小計	3,769,000	3,273,000	496,000	15.2
	滞納繰越分	85,000	110,000	△25,000	△22.7
	計	3,854,000	3,383,000	471,000	13.9
軽自動車税、市たばこ税、入湯税、都市計画税		1,162,000	1,144,000	18,000	1.6
合計		9,269,000	8,353,000	916,000	11.0

(5) 地方交付税

普通交付税は前年度と比較して1億3,000万円の増、特別交付税は前年度同額で見込みました。

(単位：千円・%)

区分	令和4年度	令和3年度	増減額	増減率
普通交付税	4,100,000	3,970,000	130,000	3.3
特別交付税	780,000	780,000	0	0.0
合計	4,880,000	4,750,000	130,000	2.7

(6) 国庫支出金

国庫支出金は、新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金の減等により、前年度当初予算と比較して1.1%の減で計上しました。

(単位：千円・%)

令和4年度	令和3年度	増減額	増減率
3,873,539	3,916,774	△43,235	△1.1

【主な増減内訳】

- ・新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金 0千円→100,000千円 (100,000千円)
- ・保育士等処遇改善臨時特例交付金 0千円→48,738千円 (48,738千円)
- ・保育所等整備交付金 65,364千円→5,542千円 (△59,822千円)
- ・文化財保存整備事業費補助金 119,460千円→28,500千円 (△90,960千円)
- ・新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金 258,000千円→100,000千円 (△158,000千円)

(7) 県支出金

県支出金は、食品産業の輸出向け施設整備事業費補助金の増等により、前年度当初予算と比較して28.6%の増で計上しました。

(単位：千円・%)

令和4年度	令和3年度	増減額	増減率
3,039,203	2,363,111	676,092	28.6

【主な増減内訳】

- ・食品産業の輸出向け施設整備事業費補助金 0千円→500,000千円 (500,000千円)
- ・市町協働による地域みらい応援プロジェクト事業費補助金 0千円→28,750千円 (28,750千円)
- ・北陸新幹線関連公共施設等整備事業費補助金 0千円→26,666千円 (26,666千円)
- ・全国高等学校総合体育大会種目別大会運営費補助金 17,461千円→0千円 (△17,461千円)
- ・衆議院議員総選挙・最高裁国民審査委託金 24,000千円→0千円 (△24,000千円)

(8) 繰入金

繰入金は、減債基金繰入金の減により、前年度当初予算と比較して11.7%の減で計上しました。

(単位：千円・%)

令和4年度	令和3年度	増減額	増減率
444,105	503,105	△59,000	△11.7

【主な増減内訳】

- ・減債基金繰入金 200,000千円→150,000千円 (△50,000千円)
- ・財政調整基金繰入金 300,000千円→290,000千円 (△10,000千円)

(9) 市債

普通建設事業債は、平成29年度発行の元気さばえっ子・ゆめみらい債の借換債分1億5,000万円も含み11億3,570万円を計上しました。

臨時財政対策債は、9億円を計上しました。

(単位：千円・%)

令和4年度	令和3年度	増減額	増減率
2,035,700	2,470,800	△435,100	△17.6

- ・普通建設事業債 1,190,800千円→1,135,700千円 (△55,100千円)
- ・臨時財政対策債 1,280,000千円→900,000千円 (△380,000千円)

一般会計歳出(目的別)の状況

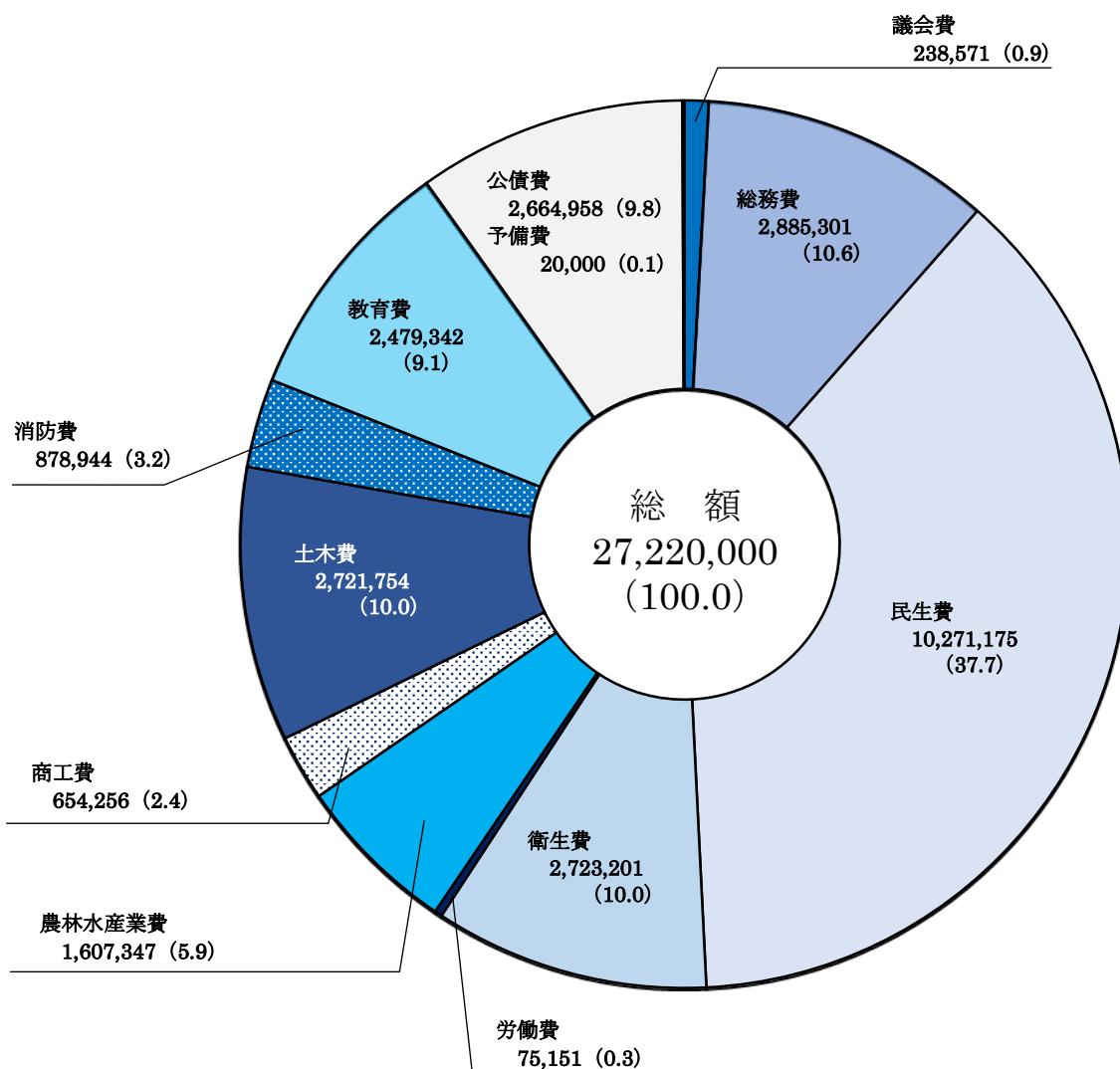
(1) 目的別内訳

(単位：千円・%)

区 分	令和4年度		令和3年度		増減額	増減率
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比		
議 会 費	238,571	0.9	238,612	0.9	△41	0.0
総 務 費	2,885,301	10.6	2,454,170	9.5	431,131	17.6
民 生 費	10,271,175	37.7	9,927,993	38.4	343,182	3.5
衛 生 費	2,723,201	10.0	2,625,865	10.2	97,336	3.7
労 働 費	75,151	0.3	116,303	0.4	△41,152	△35.4
農 林 水 産 業 費	1,607,347	5.9	1,009,997	3.9	597,350	59.1
商 工 費	654,256	2.4	611,079	2.4	43,177	7.1
土 木 費	2,721,754	10.0	2,541,716	9.8	180,038	7.1
消 防 費	878,944	3.2	852,226	3.3	26,718	3.1
教 育 費	2,479,342	9.1	2,685,411	10.4	△206,069	△7.7
公 債 費	2,664,958	9.8	2,764,628	10.7	△99,670	△3.6
予 備 費	20,000	0.1	20,000	0.1	0	0.0
合 計	27,220,000	100.0	25,848,000	100.0	1,372,000	5.3

(2) 歳出予算目的別構成表(一般会計)

(単位：千円・%)



(3) 目的別の概要

一般会計の歳出の内訳を目的別にみると、食品産業の輸出向け施設整備費補助金の皆増、県営事業負担金の増により農林水産業費が、ふるさと納税推進事業費の増により総務費がそれぞれ増加しました。

一方、文化財保存整備事業費やユークルさばえ施設整備費の減により教育費が、市債定時償還元金の減により公債費がそれぞれ減少しました。

(4) 目的別の状況

① 議会費			
・市議会議員共済会負担金	31,657 千円→	30,361 千円 (△	1,296 千円)
② 総務費			
・ふるさと納税推進事業費	152,000 千円→	250,000 千円 (	98,000 千円)
・退職手当費	201,730 千円→	258,938 千円 (	57,208 千円)
・コミュニティバス運行事業費	115,227 千円→	172,219 千円 (	56,992 千円)
・個人番号カード交付事業費	25,081 千円→	0 千円 (△	25,081 千円)
③ 民生費			
・施設生活支援事業費	1,310,000 千円→	1,393,000 千円 (	83,000 千円)
・後期高齢者医療広域連合医療給付費負担金	637,845 千円→	673,073 千円 (	35,228 千円)
・私立保育所運行事業費	1,843,331 千円→	1,878,275 千円 (	34,944 千円)
・保育士等处遇改善臨時特例事業費補助金	0 千円→	30,000 千円 (	30,000 千円)
・私立保育所等施設整備費補助金	77,855 千円→	8,555 千円 (△	69,300 千円)
④ 衛生費			
・広域衛生施設組合負担金	596,577 千円→	775,423 千円 (	178,846 千円)
・新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費	0 千円→	100,000 千円 (	100,000 千円)
・予防接種費	183,493 千円→	238,994 千円 (	55,491 千円)
・健康福祉センター施設整備費	94,200 千円→	5,700 千円 (△	88,500 千円)
・新型コロナウイルスワクチン接種対策費	258,000 千円→	100,000 千円 (△	158,000 千円)
⑤ 労働費			
・ふれあいみんなの館・さばえ施設維持補修費	25,170 千円→	686 千円 (△	24,484 千円)
⑥ 農林水産業費			
・食品産業の輸出向け施設整備費補助金	0 千円→	500,000 千円 (	500,000 千円)
・県営事業負担金	62,183 千円→	214,291 千円 (	152,108 千円)
・土地改良事業費 (県補助)	137,000 千円→	153,800 千円 (	16,800 千円)
・農林業体験実習館等施設整備費	14,158 千円→	454 千円 (△	13,704 千円)
・国営日野川用水事業負担金	91,403 千円→	6,810 千円 (△	84,593 千円)
⑦ 商工費			
・新型コロナウイルス対策費 (商工観光課)	6,000 千円→	60,000 千円 (	54,000 千円)
・地域産業振興事業費	39,602 千円→	69,077 千円 (	29,475 千円)
・工場立地助成金	135,011 千円→	128,180 千円 (△	6,831 千円)

⑧ 土木費			
・ 北陸新幹線関連道路整備事業費	15,975 千円→	101,175 千円 (	85,200 千円)
・ 北陸新幹線対策事業費	46 千円→	53,379 千円 (	53,333 千円)
・ 道路維持補修費	95,784 千円→	145,800 千円 (	50,016 千円)
・ 地域再生道路整備事業費	70,980 千円→	0 千円 (△	70,980 千円)
⑨ 消防費			
・ 消防組合負担金	846,767 千円→	872,093 千円 (	25,326 千円)
⑩ 教育費			
・ 体育施設整備費 (単独)	9,711 千円→	25,500 千円 (	15,789 千円)
・ 公民館施設整備費	0 千円→	14,100 千円 (	14,100 千円)
・ 体育振興諸経費	36,386 千円→	7,510 千円 (△	28,876 千円)
・ 文化の館施設整備費	35,000 千円→	5,100 千円 (△	29,900 千円)
・ ユーカルさばえ施設整備費	47,000 千円→	0 千円 (△	47,000 千円)
・ 文化財保存整備事業費 (補助)	238,921 千円→	57,000 千円 (△	181,921 千円)
⑪ 公債費			
・ 市債定時償還元金	2,648,505 千円→	2,564,424 千円 (△	84,081 千円)
・ 市債定時償還利子	112,676 千円→	97,197 千円 (△	15,479 千円)

一般会計歳出(性質別)の状況

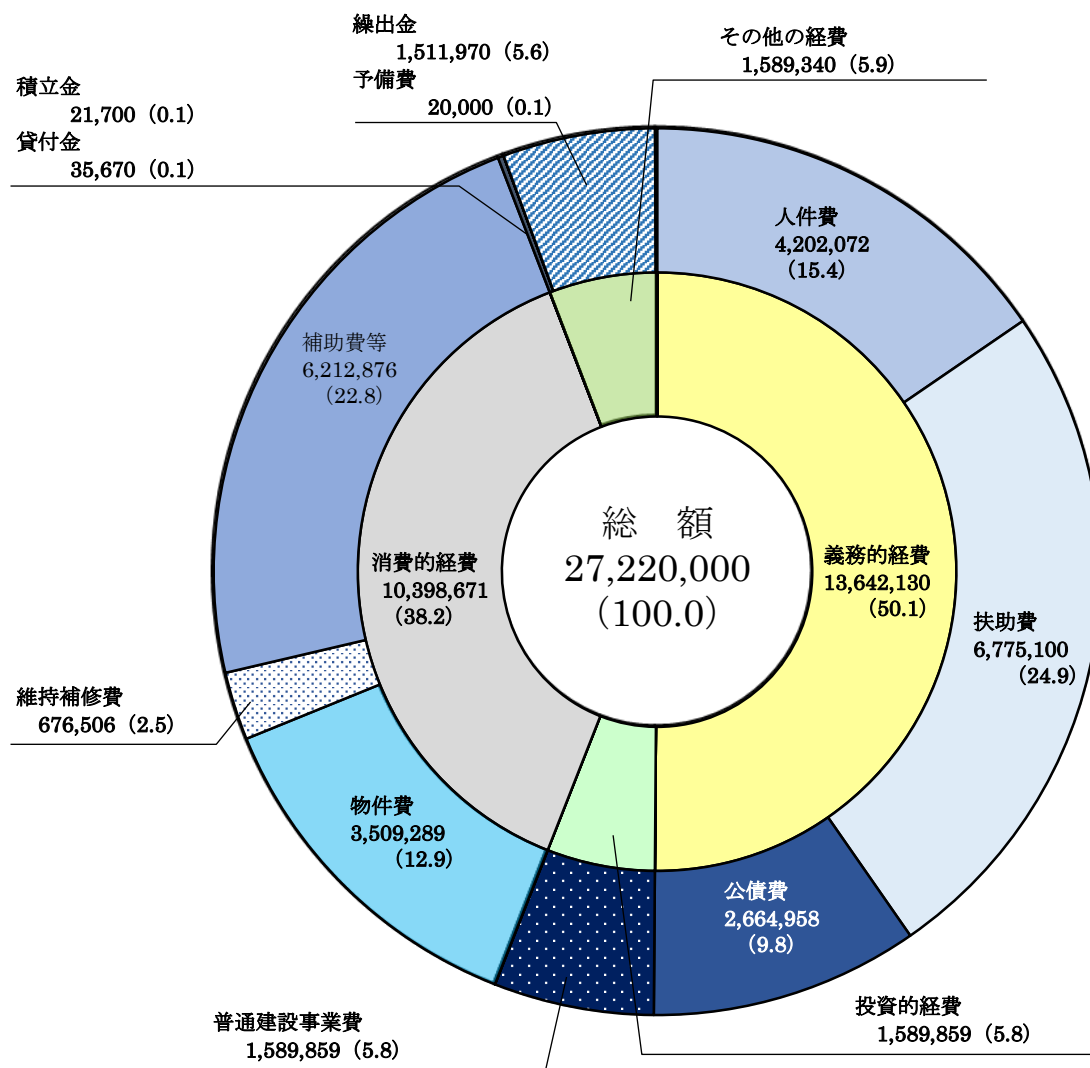
(1) 性質別内訳

(単位：千円・%)

区 分	令和4年度		令和3年度		増減額	増減率
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比		
人 件 費	4,202,072	15.4	4,060,582	15.7	141,490	3.5
物 件 費	3,509,289	12.9	3,235,224	12.5	274,065	8.5
維 持 補 修 費	676,506	2.5	577,763	2.2	98,743	17.1
扶 助 費	6,775,100	24.9	6,611,907	25.6	163,193	2.5
補 助 費 等	6,212,876	22.8	5,286,732	20.4	926,144	17.5
うち一部事務組合 負担金	2,906,083	10.7	2,668,064	10.3	238,019	8.9
公 債 費	2,664,958	9.8	2,764,628	10.7	△99,670	△3.6
普 通 建 設 事 業 費	1,589,859	5.8	1,743,285	6.8	△153,426	△8.8
補 助 事 業	492,430	1.8	723,041	2.8	△230,611	△31.9
単 独 事 業	774,862	2.8	759,431	2.9	15,431	2.0
県 営 事 業 負 担 金	315,757	1.2	169,410	0.7	146,347	86.4
国 直 轄 事 業 負 担 金	6,810	0.0	91,403	0.4	△84,593	△92.5
積 立 金	21,700	0.1	26,725	0.1	△5,025	△18.8
貸 付 金	35,670	0.1	54,913	0.2	△19,243	△35.0
繰 出 金	1,511,970	5.6	1,466,241	5.7	45,729	3.1
予 備 費	20,000	0.1	20,000	0.1	0	0.0
合 計	27,220,000	100.0	25,848,000	100.0	1,372,000	5.3

(2) 歳出予算性質別構成表(一般会計)

(単位：千円・%)



(3) 性質別の概要

一般会計の歳出の内訳を性質別にみると、義務的経費では施設生活支援事業費など扶助費の増により、前年度当初予算と比較して2億501万円、1.5%の増となりました。

投資的経費は、文化財保存整備事業費、健康福祉センター施設整備費等の減により、前年度と比較して1億5,343万円、8.8%の減となりました。

その他の経費は、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費およびコミュニティバス運行事業費等の増により、13億2,041万円、12.4%の増となりました。

(4) 性質別の状況

(単位：千円・%)

区 分	令和4年度 (A)		令和3年度 (B)		比 較 (A)-(B)	伸 率
	予算額	構成比	予算額	構成比		
1 人 件 費	4,202,072	15.4	4,060,582	15.7	141,490	3.5
2 扶 助 費	6,775,100	24.9	6,611,907	25.6	163,193	2.5
3 公 債 費	2,664,958	9.8	2,764,628	10.7	△99,670	△3.6
義務的経費計	13,642,130	50.1	13,437,117	52.0	205,013	1.5
投資的経費 (普通建設事業費等)	1,589,859	5.8	1,743,285	6.8	△153,426	△8.8
その他の経費 (物件費等)	11,988,011	44.1	10,667,598	41.2	1,320,413	12.4
合 計	27,220,000	100.0	25,848,000	100.0	1,372,000	5.3

① 人件費

【会計年度任用職員以外の職員等】 (正規職員、特別職、議員等) (単位：千円・%)

区 分	令和4年度	令和3年度	増減額	増減率
人件費(一般会計)	3,009,485	2,937,121	72,364	2.5
人件費(全会計)	3,260,356	3,202,877	57,479	1.8
うち退職手当 (退職見込数)	257,402 (13人)	200,697 (10人)	56,705	28.3
退職手当を除いた人件費	3,002,954	3,002,180	774	0.0

【会計年度任用職員】

区 分	令和4年度	令和3年度	増減額	増減率
人件費(一般会計)	1,192,587	1,123,461	69,126	6.2
人件費(全会計)	1,226,785	1,161,929	64,856	5.6

〔職員数〕

区 分	正規職員 (特別職を含む)			会計年度任用職員		
	令和4年度	令和3年度	増減数	令和4年度	令和3年度	増減数
一般会計	370人	370人	0人	533人	511人	22人
特別会計	23人	24人	△1人	19人	21人	△2人
企業会計	14人	14人	0人	0人	0人	0人
合 計	407人	408人	△1人	552人	532人	20人

② 扶助費

社会福祉施設の利用件数の増加等による施設生活支援事業費の増や、私立保育所運営事業費の増により、対前年度比1億6,319万円、2.5%の増で計上しました。

(単位：千円・%)

令和4年度	令和3年度	増減額	増減率
6,775,100	6,611,907	163,193	2.5

③ 公債費

元氣さばえっ子・ゆめみらい債満期一括償還額の減等により、対前年度比9,967万円、3.6%の減で計上しました。

(単位：千円・%)

令和4年度	令和3年度	増減額	増減率
2,664,958	2,764,628	△99,670	△3.6

- ・市債定時償還元金 2,648,505千円 → 2,564,424千円 (△84,081千円)
- ・市債定時償還利子 112,676千円 → 97,197千円 (△15,479千円)

④ 普通建設事業費

文化財保存整備事業費、健康福祉センター施設整備費等の減により、対前年度比1億5,343万円、8.8%の減で計上しました。

(単位：千円・%)

令和4年度	令和3年度	増減額	増減率
1,589,859	1,743,285	△153,426	△8.8

[主な増減要因]

【補助事業】

(単位：千円)

事業名	令和4年度	令和3年度	増減額
公園整備事業費（補助）	33,200	0	33,200
都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業費（補助）	25,500	12,500	13,000
地域再生道路整備事業費	0	70,980	△70,980
文化財保存整備事業費（補助）	57,000	238,921	△181,921

【単独事業】

(単位：千円)

事業名	令和4年度	令和3年度	増減額
北陸新幹線関連道路整備事業費	101,175	15,975	85,200
公園整備事業費（単独）	38,004	19,234	18,770
ユーカーさばえ施設整備費	0	47,000	△47,000
健康福祉センター施設整備費	5,700	94,200	△88,500

⑤ 物件費

新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費およびコミュニティバス運行事業費等の増により、対前年度比2億7,407万円、8.5%の増で計上しました。

(単位：千円・%)

令和4年度	令和3年度	増減額	増減率
3,509,289	3,235,224	274,065	8.5

⑥ 維持補修費

公共施設老朽化に係る維持補修費や道路維持補修費の増等により、対前年度比9,874万円、17.1%の増で計上しました。

(単位：千円・%)

令和4年度	令和3年度	増減額	増減率
676,506	577,763	98,743	17.1

⑦ 補助費等

食品産業の輸出向け施設整備費補助金や広域衛生施設組合負担金の増等により、対前年度比9億2,614万円、17.5%の増で計上しました。

(単位：千円・%)

令和4年度	令和3年度	増減額	増減率
6,212,876	5,286,732	926,144	17.5

〔主な負担金〕

(単位：千円)

事業名	令和4年度	令和3年度	増減額
消防組合負担金	872,093	846,767	25,326
広域衛生施設組合負担金	790,148	608,019	182,129
公立丹南病院組合負担金	254,915	311,290	△56,375
福井県丹南広域組合負担金	272,237	225,923	46,314

⑧ 繰出金

介護保険事業特別会計への繰出金の増等により、対前年度比4,573万円、3.1%の増で計上しました。

(単位：千円・%)

令和4年度	令和3年度	増減額	増減率
1,511,970	1,466,241	45,729	3.1

〔主な繰出金〕

(単位：千円)

会計名	令和4年度	令和3年度	増減額
介護保険事業特別会計介護給付費繰出金	681,360	666,090	15,270
介護保険事業特別会計低所得者保険料軽減繰出金	43,200	41,500	1,700
国民健康保険事業特別会計保険基盤安定繰出金	292,287	301,083	△8,796

⑨ 積立金

市民協働まちづくり基金積立金等の減により、対前年度比503万円、18.8%の減で計上しました。

(単位：千円・%)

令和4年度	令和3年度	増減額	増減率
21,700	26,725	△5,025	△18.8

- ・ 森林環境譲与税基金積立金 9,420千円 → 8,900千円 (△ 520千円)
- ・ 減債基金積立金 1,500千円 → 100千円 (△ 1,400千円)
- ・ 市民協働まちづくり基金積立金 3,105千円 → 0千円 (△ 3,105千円)

⑩ 貸付金

労働者生活安定資金等預託金等の減により、対前年度比1,924万円、35.0%の減で計上しました。

(単位：千円・%)

令和4年度	令和3年度	増減額	増減率
35,670	54,913	△19,243	△35.0

(単位：千円)

基金名		令和2年度末 現在高	令和3年度中移動		令和3年度末 見込額	令和4年度中移動		令和4年度末 見込額
			積立額	取崩額		積立額	取崩額	
一般会計	財政調整基金	2,877,700	608,000	605,800	2,879,900	8,000	290,000	2,597,900
	減債基金	728,100	1,500	200,000	529,600	100	150,000	379,700
	公共施設等 整備基金	—	450,000		450,000			450,000
	温泉施設 整備基金	122,000			122,000			122,000
	市民協働まち づくり基金	1,500	15,150	5,150	11,500		3,000	8,500
	安全・安心 防災基金	2,500	2,500		5,000	2,500		7,500
	福祉基金	307,510	1,500		309,010	1,500		310,510
	育てやすいまち づくり基金	—	50,000		50,000			50,000
	森林環境 譲与税基金	10,400	9,420		19,820	8,900		28,720
	ふるさと水と土 保全対策基金	11,190	50		11,240	50		11,290
	公園整備等基金	326,800	50		326,850	50		326,900
	教育振興基金	110,600	600		111,200	600		111,800
計		4,498,300	1,138,770	810,950	4,826,120	21,700	443,000	4,404,820
特別会計	国民健康 保険基金	280,720	10	70,000	210,730	10	16,000	194,740
	介護保険基金	471,260	350	34,000	437,610	350	86,000	351,960
計		751,980	360	104,000	648,340	360	102,000	546,700
合 計		5,250,280	1,139,130	914,950	5,474,460	22,060	545,000	4,951,520

(単位：千円)

区 分	令和2年度末 現 在 高	令和3年度末 現在高見込額	令和4年度中増減見込額 (当初予算ベース)		令和4年度末 現在高見込額
			借 入 見込額	元金償還 見 込 額	
一般会計	25,683,143	26,033,638	2,035,700	2,564,424	25,504,914
うち普通債	14,104,163	14,135,401	1,135,700	1,615,548	13,655,553
うち臨財債	11,578,980	11,898,237	900,000	948,876	11,849,361
企業会計	23,404,421	22,593,531	878,800	2,000,140	21,472,191
水道事業	3,273,919	3,285,832	200,000	192,352	3,293,480
公共下水道	18,300,566	17,607,546	614,700	1,615,640	16,606,606
農業集落	1,829,936	1,700,153	64,100	192,148	1,572,105
合 計	49,087,564	48,627,169	2,914,500	4,564,564	46,977,105